

補

古之
樣
標
語

全

特279-299

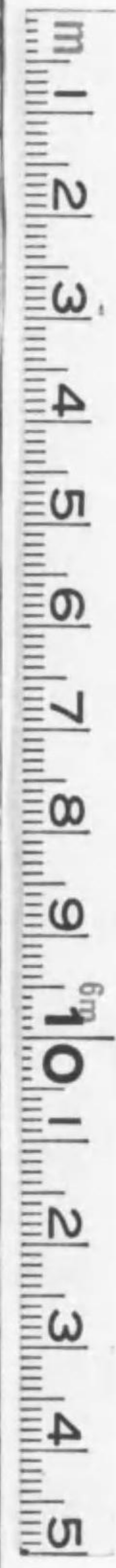


1200501132277

書目録

279

99



始



Handwritten text in a cursive script, likely a continuation of the text on the reverse side. The script is dense and fills most of the page.

Handwritten text in a box at the top of the page, possibly a title or a specific section marker.

Main body of handwritten text in a cursive script, continuing the text from the reverse side. The script is consistent with the text on the other page.

春去字鏡と偽字
と云ふ人ありし
そはいつか
本字論ハ別よむ
のせむとせむの

春去竟寧哥の假字
ふらふらしむことハ
こゝにすてく流し
ふらふらしむことハ

奈良の朝
上代ハ朝
る字ハ異
中て字鏡和名
を字ハ月や
すき字のみと
あしハ寛
平延喜承平
の頃ハ也假
字の實ハた
ふらふらしむ

常々々々
かり假字と用
むとせむ
味ハ毒地
の草ハ皆濁
音ハ清音ハ假
字ハ用ハ誤
猶ハ一
言ハ条ハ一
音訓ハ清濁
音訓ハ

古言の證とすべきものの中ハ

新撰字鏡ハ書ハ古き世の書目録ハ字鏡と云ふ
其字鏡ハ古ハ出来ハ古キ世ハ新撰を作リ
撰と記シて実ハ古言多ク假字も古キ世ハ
ゆくり形得るハ古言多ク假字も古キ世ハ
も多ク見たりと蝶ハ音のまハ古言多ク
一といハる假字の止るところ知事ハ
諸國の風土記ハ傳らず今た出雲風土記と豊後風土記ハ
此記の傳る時ハ書たるものハ引るとバどう用
ハ古キ世ハ古言多ク假字も古キ世ハ

神樂催馬樂風俗哥の古本ありハ實茂大人と村田春御の京ハ行ハる時得るハ
古キ世ハ古言多ク假字も古キ世ハ

日本紀竟寧哥ハ是も真字と書ク古キ世ハ見ゆるものハ古キ世ハ
事ハ交ハるハ後ハ人のうツ書ハ誤ハるハ古キ世ハ
證とすものハ古キ世ハ古事記日本紀ハ古キ世ハ
名ハ同じハ字鏡と奉ク和同ト守古キ世ハ

古事記日本紀等の假字ハ専ラ字音を用ク訓を交ハず
ハ濁音の字を用ク又古ハ濁音ハ用ハるハ多ク
書ハるハ中ツ世の下ハ古キ世ハ木止ハ江女井ハ
漸クハ古キ世ハ古言多ク假字も古キ世ハ
ハ古キ世ハ古言多ク假字も古キ世ハ
ハ古キ世ハ古言多ク假字も古キ世ハ
ハ古キ世ハ古言多ク假字も古キ世ハ

一言の條ハ清音濁音清濁二音半濁音二字一言等ハ古事記日本紀百葉集等ハ用
たる假字ハ且假字ハ四声ハ用ハるハ古例ハ
草木鳥獸ハ字ハ古キ世ハ古言多ク假字も古キ世ハ
の物ハ用ハるハ古例ハ
ハ古キ世ハ古言多ク假字も古キ世ハ
ハ古キ世ハ古言多ク假字も古キ世ハ
ハ古キ世ハ古言多ク假字も古キ世ハ

曾補古言類聚 附言

原本古言標に
をの所屬と誤
り今之を正す
る

増補古言標註

あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ
一	二	九	三	四	五	五	六	六	六
い	き	き	ち	に	ひ	み	い	り	わ
四	九	三	三	四	四	五	六	六	六
う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	ゆ	る	う
十	六	三	三	四	五	五	五	六	六
え	け	せ	て	ぬ	へ	え	れ	急	を
三	七	四	四	四	同	同	六	六	六
わ	こ	そ	や	の	ほ	も	よ	る	を
十	八	同	同	同	五	五	五	六	六

古 古事記 紀 日本紀
 純紀 續後紀 續日本紀
 詔 續紀 延喜式
 祝 式祝詞 万葉集
 新万葉集 新撰万葉集 新撰字鏡
 和 和名抄 靈 靈異記
 以外の書名ハ全ク奉

増補古言標註

○安部

一言	安	阿	阿	鞅	音也古事記日本紀 万葉集假字下同	吾	我	足	畔	同 異 訓也		
二言	阿	は	粟	阿	は	淡	阿	は	阿	波		
安房	和名抄 阿八	あ	ハ	飛騨脚 和安波	阿	拜	阿	お	水の上のあこし 同 阿和同	沫	泡	
阿	深草字鏡 和阿為	阿	ち	魚屋阿 地和同	阿	ち	阿	治	味	阿	を	
阿	若狹脚 和阿水	阿	桑	あ	い	阿	ふ	達し又相合會遇 同 阿比 阿布 同 阿方 同	阿	一	阿	を
阿	阿借約 大あり	阿	え	あ	あ	阿	ち	鬼類 阿阿邊村 運歩色葉集 安持	阿	一	阿	を
阿	阿借約 大あり	阿	え	あ	あ	阿	ち	鬼類 阿阿邊村 運歩色葉集 安持	阿	一	阿	を

増補古言標註

原本ハ一言の余子
いめえをちの部
の外訓の假字との
をすさうと万葉
と意得ん便と
もいふ今巻
奉之但一曰と
訓道也
連徳ハ一言の
を今打すせて
二言の假字二用い書
んハハハハハハハハ
類もハハハハハハハハ
ハハハハハハハハハハ

布保通入と云ふも
今書入るハあつひ
と云ふハあつひ
とも同

万七十一阿自目人

三言 阿るド

古本風俗書 阿流之 主

阿はび

貝紀阿波 藤万同 襲 石決明 又絶

阿はき

木之阿波 阿紀同 摠

あふち

木之阿安布 知字同 棟

阿づき

木之阿豆 佐紀同 梓

阿はぶ

粟生之古紀 阿阿波布 粟田

阿づき

豆紀阿 豆根同 小豆

阿ふみ

草之阿阿比古今集物 全達日子添阿阿比

布保 葵

阿一ぬ

草之阿阿之為 蓋草

阿とど

青嶋阿 阿乎度 礮礮

阿ト

魚之取捕 網代

阿ふこ

物と荷ふ木古今集逢期 添字阿保古阿布古布保通 杓

阿トカ

阿自加 阿同 簀

あまに

當陸風土 記阿乎 青土

あそみ

阿伊太文 阿乎美奴 艶艶 阿

布阿 扇

あふぎ

天小向之 万安布熱 仰

阿ふこ

馬具之字 阿阿不利 障泥

阿ゆひ

足纏之古紀 万阿由比 脚帶

阿ごえ

字阿古衣和同 難維照有岐也 距

阿へき

春去病ふあひ 濱云字阿波久馬安

病之阿 喘息

阿るれ

歎辭之古 紀阿波礼 阿憐 阿怜

阿らみ

阿らふ 阿るる 良布 洗

阿云贖 冥異記 阿

阿らは

阿羅幡貳 阿良波之

顕露

あがふ

万安賀 布同 贖

倍而 敢

あへぬ

万堪と安 倍年 不堪

阿みだ

阿比 阿比 間

てあろ

阿た

惶急 周章

阿たふ

阿たふ 阿たす 種代紀阿當播双今度又 雄器紀與 伎而振云

同 與

阿づく

預

あたひ

當易之字 加る多 價

下七 古本神樂寺 安波世 合

あづま

東國と云古 万阿豆麻 吾妻

阿ふみ

國之古阿 布美紀同 近

江淡海 会津

伯耆郡之 阿安不美 會見

阿はち

國之阿 阿波知 淡路

あひづ

陸奥郡之 阿安比豆 會津

阿いた

出羽郡之 阿伊太 秋田

あいか

出雲郡之 阿安伊加 秋鹿

曾浦古言標注

あきたをあたると云
八百使之也部小
ぎづをやまいつと云
も同

阿への語意
ハ皆同敢
堪の子ハ
と云ふも
雄略紀 駭惚
アホナ

春云はこいこ通す
より時よき

春云平安とある
と訓する

春云はひねり相違
あり恵度集子
二巻より

春云はひねり相違
あり恵度集子
二巻より

林一語抄

あいた

美作郡
和安伊多

あゆら

尾張郡
有和伊知

愛智

あをみ

三河郡
和安伊多

あかふ

信濃郡
和安加布

あゑか

淡路郡
和安惠加

平安

四言

あわゆき

和安和由

沫雪

あひむこ

姉妹の夫
和安比無古

あ

ひよえ

兄弟の妻
和安比与米

妯娌

あひた

相楚相阿部
在相生の事

あ

あひ

清言
阿支志比

朦

あなな

足病
和安那閑久

あ

あむ

虫
和安手無之

螟蛉

あはから

魚
和安波我良

抗齒魚

あまづ

ら

甘葛
和安豆良

千歳薬

あぢさゐ

草
和安豆佐良

紫陽花

あさ

かほ

和安禮と訓
和安花と訓皆阿佐加保

あさぢさゐ

漢字生
和安波我良

あ

がひ

和安阿斯訓備

あえま

和安方知

あをのり

海草
和安乃利

整

あはま

和安食塩
和安阿知之保

あはま

和安字職
和安阿地波比

味

あへもの

和安反毛
和安乃同

あらた

鹿柄
和安多ノ部

あづま

あむづち

和安射藝具
和安阿無豆知

あむづち

和安射藝具
和安阿無豆知

あをみ

え

和安比衣
和安竹刀

あまな

和安交易
和安阿支奈布

あなこひ

え

和安比衣
和安竹刀

あまな

和安交易
和安阿支奈布

あなこひ

危

あつかひ

和安傷熱
和安阿豆加布

鳴

あから

和安明
和安加良閑

春云はあひ
足代のり
古本今昔物語

古語拾遺
古語阿良多倍

あひは
ひと濁る

造作具
阿奈々比
麻柱

あつかひ

鳴

あから

明
加良閑

演云
政半相阿奈那比
麻柱之義蓋本于
甲道大呂士麻柱

廢柱の誤ある

神代紀問の靈運
當運の靈運
蘇弱の雄略紀
遺病弥留の
多と見え源氏物
語桐壺巻もあつ
て同語也

与云折門記體
阿知支奈久去

増補古言標榜註

あはるひハ 一語也 或 安房郡又駿河遠 あまさへ 餘副 刺 相模郡阿由加波 あゆかは 阿由加波 愛

甲 安房郡又駿河遠 あさひさ 江郷阿尤比奈 朝夷 天河の河の割 あさふづ 越前朝津 朝津 阿佐布豆

五言 六言 七言 天河の河の割 あまのぶは 加部あり 銀漢 ありのむ

は 蜻蛉之小而赤也 あまがへる 虫と阿阿未加開流 蛙 蛭

あーまつひ 虫と阿阿 蟬 註阿閉豆久利 あな 註切肉合様也

にゑや 阿阿那 妍哉 冠阿阿表途 あぢきさ 余志紀同

し 赤氣無之竟寧哥 無端 冠阿阿表途 あをひとくさ 冠阿阿表途

あーはらがに 甲虫と阿 蟬 冠阿阿表途 あげびかつら 鳥阿阿介 通草 鳥阿阿介

あはせのころも あはせの 袂 又裕 あまのよ

さづら 阿阿率能 天吉葛 与佐圖羅

○以部

一言 い 以 伊、巳、異、移、怡、易、夷、印 意 寐、寢、眠、宿、膽、射、五、

訓七 五十 一字一言 馬聲 同上 いも 暮積阿夜方都以毛 いみ 鳥阿伊微 鷓鴣

二言 いも 阿阿伊也 妹 手阿以閉都以毛 いみ 鳥阿伊微 鷓鴣

いぬ 獸と阿以 犬 奴又惠奴 いか 介虫同 烏賊 伊阿伊 いね 伊阿伊 稻 寐ふ稻を借

増補古言標榜註

拾遺物名犬ふ去ウ
いひる方

久知 免缺

いひぼいせ

豆鹿麩於肉也まいひぼハ常云いぼいせハ常云いぼいせ

腕 又疣

いつる

飛鳥と射

いたち

小獸細 以多知

いむき

小蟹シ字 伊牟支 蛸

いかひ

貝細 伊加比

いるか

大魚細 伊留加比

い

和志細 同 鯛

いぐひ

魚名 出雲風 土記伊具比

いさり

捕魚細 伊射里

い

和以介須註也 中編竹藤養魚 簾

いちび

草細 以知比註 今編商為行纏

いぢひ

木古伊知 比細 同

赤檮

木匣伊太 比細 同 折傷木

いぬえ

草細 以衣

いぬえ

香葉

い

草細 遠景訓伊致跡地匣積又蓋訓同 和積盆子訓以知古いちびこもよ

いさぎ

覆盆子

いさぎ

息

いさぎ

い

和以 支須 海髮

いさぎ

勇雄

いらび

良之

息

い

海底石古伊 久理紀 同

いさぎ

砂

いはほ

高大石 匣伊波 保守細 同

巖

いは

石屋細 和 岩

いほり

菴居細 伊保里

いがき

神籬之 伊垣

齋籬

い

出水の略 泉

いづみ

和泉

いらか

屋棟細 伊良加

蕘

い

駐舟具細 和伊加利 碇

いかだ

和以 加太 筏 小舟

いがた

和伊加太註 鑄鐵形也

鎔

い

戰細 和櫻種と以久 佐乃不祢戦船也 軍

いばら

杏葉

いばゆ

馬鳴細 以波由

嘶

い

戰細 和櫻種と以久 佐乃不祢戦船也 軍

いばら

軍

いばむ

伊杆莖

いかる

い

和伊箇 之祝 同 巖

いばら

齋

いのる

伊乃道竟草同

祈

い

和伊箇 之祝 同 巖

いばら

賤

いまび

古伊麻須 同

在

作酒ノ葉トシテ 其利を得テ沽計 同ノ其利トモ

五一 五十日太

いさひハ忌ミ 出

増補古言集

六

いさぎ 神号之固伊邪那岐

いもうね 丹波郡和伊加苗加

いもろね 女子後生之和伊毛宇登

妹

いかるが 鳥伊倍波登同

鳥之

柯屠餓

班鳩

いかすが

何鹿

いばせ

いばせ

鳥伊倍波登同

鳥

鳥之

いひやふ

比登与

鶴鷗

いらむ

いらむ

伊良虫

蝗

いひや

鳥之

伊奈久

り

比阿里

赤蟻

いなく

以奈久

嘶

いけに

伊計仁倍

儀

儀

牲

いげやり

取

虜

いろくづ

魚甲之

鱗

い

い

い

もち

魚之

鮫

いぶ

魚之

鮪

い

い

い

い

秦龜

いたがり

草之

虎杖

いぬたで

草之

荳草

い

い

い

いへに

草之

鬼葵

いきくさ

草之

景天

い

い

い

い

いへに

倍仁

鬼葵

いきくさ

草之

景天

い

い

い

い

いへに

草之

鬼葵

いきくさ

草之

景天

い

い

い

い

き

草之

商陸

いもがら

草之

景天

い

い

い

い

いへに

草之

卷柏

いたがき

頭上之

頂戴

いたがき

いたがき

いたがき

いたがき

いへに

草之

卷柏

いたがき

頭上之

頂戴

いたがき

いたがき

いたがき

いたがき

山頂之

以太

いへに

以之乃

岩崩

いへに

以之乃

頂戴

いたがき

いたがき

磯

いへに

以之乃

鐘乳

いちぐら

いちぐら

いちぐら

いちぐら

いちぐら

いちぐら

いへに

以之乃

鐘乳

いちぐら

いちぐら

いちぐら

いちぐら

いちぐら

いちぐら

いちぐら

いへに

以之乃

鐘乳

いちぐら

いちぐら

いちぐら

いちぐら

いちぐら

いちぐら

いちぐら

の

以之乃

鵬

いへに

以之乃

功勳

功勳

功勳

功勳

功勳

みへ

以之乃

鵬

いへに

以之乃

功勳

功勳

功勳

功勳

功勳

久利以刀

奈牟訓

いたがき

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

久利以刀

奈牟訓

いたがき

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

久利以刀

奈牟訓

いたがき

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

久利以刀

奈牟訓

いたがき

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

久利以刀

奈牟訓

いたがき

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

久利以刀

奈牟訓

いたがき

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

久利以刀

奈牟訓

いたがき

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

伊多波斯

増補古言栞標言

イソシイソシイ
 一、純日本紀小勤臣
 をイソシイナミといふ
 ことをもイソシイナミ
 曰必勇雄の心イサ
 フレクハ勇雄ら
 くの中津保物語語俊
 蔭表よといふ
 天のつらさ
 山さ
 かげい
 やさ
 ひふ
 いま
 心と
 ぬと
 春云万十一
 又一書奇小伊布可
 美と有気振
 出と云
 与云俊頼
 中
 見と
 いと

いつける 室伊豆 波苗 偽 又倭 いふせ いふせき 万縁夫 勢美 赫悞 イ射奈 比團同 誘

ふがる いぶさし 不審此語也イ振 出つ所の意もあるハ特ニ

いさふひ いさふひ 匣伊佐 用布 猶豫 いさふか 伊木長良 伊与々加 森々

そがし いそか 靴も同意 鬧 いそぐの例 いそぐも 紀易借通 毛詔同 雖

や 云の例 況 いさかひ 匣伊須呂許比ゆり呂良通 須良の約佐加ゆ許又々々 諍

なし 室伊登 奈志 倦 いさか 左可尔 聊 いさく 免 万伊佐 佐米 卒

爾 遠江郷 伊比之目 邑代 いほひ 息勢 いふすき 薩戸郡和 以夫須岐 揖宿

ろ 伊比之目 いへと 又家刀自 家室 いそぐ 免 万伊佐 佐米 卒

五言 六言 七言 いらつひ免 いらつ免 家女しつハ助語 羅克比咩 伊良里賣 郎姫 郎女

いやい 從父兄弟の子 細伊夜伊刀古 再從兄弟 いきす だま 細伊岐 頼太方 窮

鬼 いほき な いたがけ ちるあり 切 いほむ 免 虫

比保年志利 以保無之利 螳螂 いたご まる 虫 兼古万呂 蚱蜢 いり こまる 虫

将門記伊 利古方留 偈灰 いさか 吹り 冠群配 異合 雜等利 同 勇魚取 いす ぐは 虫

冠群固伊 須久波斯 いか ぐせむ 将門記伊 加女世申 何為 いた やがひ 月 太夜加比

文蛤 いは つじ 木 知豆々之 匣以波豆々之 又毛 匣以開 羊躑躅 いら ぐ

さ 草 良々久佐 羊桃 い ついも 都以毛 芋 いは ぐすり 草

増補古言栞標言

家女しつハ助語 羅克比咩 伊良里賣 郎姫 郎女

増補古言撈撈言

波久須利又須久奈
比古乃久須祢

石薺

いは乃かハ

草之和以波乃加波又
以波久美注其葉加皮

石

韋

いたちぐさ

草之和以多知久
佐又以太知波勢

連翹

いなびか

電光之和伊奈比加利又
伊奈豆流比又伊奈豆力

電

いきりほる

和以

倍呂之茂 伊伎騰
保流室同 伊支主呂志

憤

いちどろく

之略又

灼然

いちほや

速比 嚴捷

いはらき

和以之波之政注建天木
置石其上絶機以投敵也

旛

いらまけ

吉伊良那和久 方同字和奇と伊良
或訓那和久ハ 科字書詩煩之息

いそのかみ

天和卿之記 伊須能
箇強和伊曾乃加美

石上

島御願文
伊都岐島

いそがは

五十鈴川

いづきま

和以豆岐
乃美夜

齋宮

いそこおもて

医心方以呂
古於毛天

飼面

面皮上有沢
如米粉著也

いつ

きのみや

射藥具之和以久波
土古略又阿無豆知

いくばくころ

射架

いも志う水災

妻の姉妹之和
伊毛之宇刀免

姨

いぬかひほし

星之和以
奴加比保

之又比
古保之

いぬのたまひ

天吐之和以
奴乃太末比

犬心

いたちは

木之和以多知波
之加美又保曾史

蔓椒

いねつきこまる

虫之和以祿
豆支古万

いなねふせがら

鳥之和以奈於保
世度里 不保通

指負鳥

宇部

一言

于、宇、汗、紆、烏、有、雲、鳥、羽

得、卵、兔

与云貫之自筆古
今集いれおはる
典云いおはる
ふとささる
とさ一毒く
る記

増補世言機軸

二言

うま

馬
此外に本麻と
らちハ皆字を年誤

うを

魚
古字表同此外
以表やも云ハ後の略

うじ

虫古字

蜡

うた

梅
木古鳥米同
年梅やある字と年誤

うり

瓜
蔓神和字利
古本備馬同

うろ

草木を植

殖

うろ

うろ

うり

瓜
飯小和神武紀
怒植古比介

うら

五中何ハ字と

うら

うら

うら

うら

うら

うら

水廻

渦

うら

うら

うら

うら

うら

山城郡

宇治

うら

うら

うら

うら

うら

上

うら

うら

うら

うら

うら

三言

うら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

頭後

項

うら

うら

うら

うら

うら

波良

荊

うら

うら

うら

うら

うら

志

うら

うら

うら

うら

うら

うら

宇氣比

うら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

うら

三代

うら

うら

うら

うら

うら

表門

うら

うら

うら

うら

うら

うら

増補世言機軸

十一

春云馬と年麻梅と
武米といふこと
ふいふ形と
この後の薄と
訛しといふこと
天曆の比ハ

万五字と流

春云馬と轉
むといふこと
古一無
春云馬と轉
むといふこと
古一無
春云馬と轉
むといふこと
古一無

神功紀曰時人稱其産
呀曰宇治也古事記焉
生成國土注訓生字本

宇鏡伯 其妙及伊
多野字 變傳同

うら 入とて
あつて

四言 うはまり 古宇波那 理紀同 後妻

まかひ 馬飼紀 于麻柯比 典馬 人 うまぐは 農具紀 宇麻久波 馬把 鳥之因于具比類 古今物名同 鶯

比 社 うまはす 因于万波志又 云母寸 利 うすらひ 因宇須 良婢 薄氷 うはがひ 衣の前 古宇波加

又敬 うるは 古宇流波 斯紀同 美 失 うるほひ 保娘 古宇前 潤 又滙 うつろ

ひ 古本神楽同 移 氏又山城地名紀 桑訓尚 豆麻佐又鳥豆母利麻佐 うかひ 古宇加と波又紀于介 伽早豆宇加と不 窺 又伺

うちは 打延 新万打 うつまさ 氏又山城地名紀 桑訓尚 豆麻佐又鳥豆母利麻佐

づ 上給郵 宇留比豆 濕津 うりふの 日向郵 宇利布乃 瓜生野 うたがひ

五言 一 至十 うまふくま 野菜 宇末不々岐 牛蒡 うまきた 草 宇末支大之

鱧腸草 うはれそひ 宇衣上副也 宇波於曾比 褌 うへのき 宇倍乃 岐奴 宇豆紀

襦之給 袍 うつはもの 和瓦器と須惠 宇都波毛乃 器 うづくまる 鳥豆麻佐

祝 祝宇豆乃幣帛を去宇豆小同 固今 本小宇須受麻里也 蹲 うばらくつ 鞍馬具 宇波良具都和 疾藜

街 うまのひたひ 草 石龍葛 宇牛乃比太比 同宇又太豆乃比介 石龍荷 宇牛乃比太比 同布加豆美 宇同

たひのうま 和宇比太 非能宇麻 戴星馬 うぐひすのいひ 衣比須乃

濃云 うづりまの證 衣也 佐宇豆の幣帛 論

純後紀 疑布 空同

古語拾遺 姓宇豆 佐

萬十五字 思奈波受

与云以部 の標注よ

いふ かきとて

と 守ハ利と得

曾補古言類聚

以比称又久佐
支乃称

恒山

うたまひのつかさ

官名也和字多
未比乃豆加佐

雅樂寮

うたへたぶすつかさ

官名也和字多倍多々須都加佐又伊
勢州部子ハ於佐加倍也

刑部省

まらふをやらふるか称

配于覽臨你高
野羅用摩柯條

美飲喫哉

延部

一言元衣延要曳依叡哀埃愛音

兄江荏荏梗枝柄

柯得吉善訓

可愛 二字一言

二言えひ

字表比注
編平魚

鯨 えひ

和衣比注似鱧而
青長真骨者也

鱧

えひ

和衣比注俗
用海老二字

蝦

仙足石河和礼波衣
美須且云

上のえひ
ひひひひ
ひひひひ

えだ 手足也
和衣太

肢 えだ

枝 えだ 桤固延
陀同 又條
柯幹

えぞ

古言よえぞハ配
愛詠詩の清語也

蝦夷

え

ち 近江郡愛智和衣知
遠江郡依智和同上

えの 薩摩郡
和延乃

穎娃

えた

加賀郷
和衣多

英太

蝦夷

三言 えをぢ

父の兄
和衣乎地

えみし えのす

和愛詠詩のえみす
美中備志や須通

蝦夷

えびら 屋具也和衣
都利和同

蘆薈

蠶簿

えふり

農具也和延布利
和把之無齒者也

杵

え

つえ 和衣夜美又登岐乃介註
民皆病也此
えやみのえハ瘦の字音也

疫

えらび

原順哥下甲子と
もくろのえらび

瘡

えやみ

和衣夜美又登岐乃介註
民皆病也此
えやみのえハ瘦の字音也

疫

えらび

えくじ

和衣夜美又和良波夜
美社二見一發之病也

瘡

兄國

え

和衣夜美又登岐乃介註
民皆病也此
えやみのえハ瘦の字音也

疫

えらび

えくじ

和衣夜美又和良波夜
美社二見一發之病也

瘡

兄國

え

和衣夜美又登岐乃介註
民皆病也此
えやみのえハ瘦の字音也

疫

えらび

えくじ

和衣夜美又和良波夜
美社二見一發之病也

瘡

地榆

え

和衣也三又左半也
弥老瘡
えやみのえ
疫の字音也

和衣夜美又登岐乃介註
民皆病也此
えやみのえハ瘦の字音也

四言 えんじ

米虫 晦

えびす

草也和衣夜米也
無又衣比頂称

地榆

え

三

三

増補古言抄辨言

び寸足

海菜也。和比呂米又衣比須米。

昆布

えかばら

和衣賀波良。小兒腫病也。

痞

えも

の

常陸風土記荒賊俗。阿良大流要斯母乃賊。

与云物語書ふせせことえせものせせき、

五言

えやみぐさ

草之。和衣夜美久佐又途加。

龍膽

えびかづら

蔓草之。和紫葛と衣比加豆。

良蒲萄と衣比加豆良乃美

えび寸ぐさ

草之。字衣比須叶山佐介和衣比須久須里又叔美久須里。

芍藥

衣比須久佐

和決明同訓

○於部

一言

於。於。於。意。憶。憶。飲。隱。乙。應。破。

父也。凡學とと

父の兄弟とと

鬼字。和

萬五。鬼字。醜を

二言

おや

和於夜

お母

和於暮

お母

和於

おぢ

字於地

祖

お父

和於父

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

和於美

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

和於美

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

和於美

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

和於美

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

和於美

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

和於美

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

和於美

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

和於美

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

和於美

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

和於美

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

お母

増補世言辨類

おひた 比 追 古意富 大 父の父 祖父 同 音 同 疵 疵 疵 疵

おひた 比 追 古意富 大 父の父 祖父 同 音 同 疵 疵 疵 疵

おひた 比 追 古意富 大 父の父 祖父 同 音 同 疵 疵 疵 疵

おひた 比 追 古意富 大 父の父 祖父 同 音 同 疵 疵 疵 疵

おひた 比 追 古意富 大 父の父 祖父 同 音 同 疵 疵 疵 疵

おひた 比 追 古意富 大 父の父 祖父 同 音 同 疵 疵 疵 疵

おひた 比 追 古意富 大 父の父 祖父 同 音 同 疵 疵 疵 疵

おひた 比 追 古意富 大 父の父 祖父 同 音 同 疵 疵 疵 疵

おひた 比 追 古意富 大 父の父 祖父 同 音 同 疵 疵 疵 疵

おひた 比 追 古意富 大 父の父 祖父 同 音 同 疵 疵 疵 疵

おひた 比 追 古意富 大 父の父 祖父 同 音 同 疵 疵 疵 疵

おひた 比 追 古意富 大 父の父 祖父 同 音 同 疵 疵 疵 疵

おひた 比 追 古意富 大 父の父 祖父 同 音 同 疵 疵 疵 疵

おひた 比 追 古意富 大 父の父 祖父 同 音 同 疵 疵 疵 疵

おひた 比 追 古意富 大 父の父 祖父 同 音 同 疵 疵 疵 疵

おひた 比 追 古意富 大 父の父 祖父 同 音 同 疵 疵 疵 疵

おひた 比 追 古意富 大 父の父 祖父 同 音 同 疵 疵 疵 疵

おひた 比 追 古意富 大 父の父 祖父 同 音 同 疵 疵 疵 疵

おひた 比 追 古意富 大 父の父 祖父 同 音 同 疵 疵 疵 疵

春五老... 伊予美奈... 伊予美奈... 伊予美奈...

流 落 又 墮

おふ 上落郷 飲富 出雲郡 意宇 意宇

おふ 上落郷 飲富 出雲郡 意宇 意宇

おふ 上落郷 飲富 出雲郡 意宇 意宇

おふ 上落郷 飲富 出雲郡 意宇 意宇

おふ 上落郷 飲富 出雲郡 意宇 意宇

おふ 上落郷 飲富 出雲郡 意宇 意宇

おふ 上落郷 飲富 出雲郡 意宇 意宇

おふ 上落郷 飲富 出雲郡 意宇 意宇

おふ 上落郷 飲富 出雲郡 意宇 意宇

おふ 上落郷 飲富 出雲郡 意宇 意宇

おふ 上落郷 飲富 出雲郡 意宇 意宇

おふ 上落郷 飲富 出雲郡 意宇 意宇

おふ 上落郷 飲富 出雲郡 意宇 意宇

おふ 上落郷 飲富 出雲郡 意宇 意宇

おふ 上落郷 飲富 出雲郡 意宇 意宇

おふ 上落郷 飲富 出雲郡 意宇 意宇

春去真名伊勢物語... 伊勢物語... 伊勢物語...

おひ 野茶 苜蓿 苜蓿 おく 稲の遅 晩稻 晩稻 おほ 草 大黃 大黃 おほ 草

おひ 野茶 苜蓿 苜蓿 おく 稲の遅 晩稻 晩稻 おほ 草 大黃 大黃 おほ 草

おひ 野茶 苜蓿 苜蓿 おく 稲の遅 晩稻 晩稻 おほ 草 大黃 大黃 おほ 草

おひ 野茶 苜蓿 苜蓿 おく 稲の遅 晩稻 晩稻 おほ 草 大黃 大黃 おほ 草

おひ 野茶 苜蓿 苜蓿 おく 稲の遅 晩稻 晩稻 おほ 草 大黃 大黃 おほ 草

曾補古言辨類

ほみ 大御代の御言 大御代の御言 大御代の御言

思 吉於母比又意 母布 廻 互 同

卸 互於呂之廻卸 又良於呂頃

劣 仙足石哥於刀礼苗 竟實哥於刀良之

同 又於 夜自

起 互於 又興 發

恐 互於 曾流

溺 重しう出る言遠江 人量ともなるゆえ

多 互於 保伎

覆 互於幣理同字慢覆と奴利於保不 和車具幣理と久飛於保比

凡 互於凡凡凡凡凡凡

遅 互於曾志廻驚 於曾伎宇馬

贈 又送 互於久 理同

遣 互於 勢多流の俗と八同

愕然 互於 比由

奢 天ほくろの意

おろの 互於

おろ 互於

おろ 互於

おろ 互於

おろ 互於

おろ 互於

おろ 互於

おろ 互於

浮 互於 良此

愚 互於 呂可

命 多 行定

大内 大和郷 互於

おほく 備前郡 互於保久

忍坂 大和郷 互於

おほく 山田の折ねおとめと世とひとこもいふみまひぬら押とせふ重しとく

四言 互於保 曾良

叫 互於 良此

覚 互於 行定

旋 互於 行定

大市 播磨備中郷 互於布知

おほく 駿河郷 互於支都

息津 石見郡 互於保知

大道 互於 保知

太虚 互於保 曾良

泳 互於 水中と行也

愛宕 山城郡 互於多岐

おふち 因幡郡 互於石見

邑義 新古今集 互於布知

おほく 新古今集 互於布知

おほく 新古今集 互於布知

御體 互於保 美麻

お 互於保 美麻

漢五古本今昔物語 卷之三 神り心 又神り心

おほく 大内 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

おほく 大市 互於

ほきみ 臣惠富岐 大君 祖父の母 曾祖母 祖父の母 阿叔 父の弟之同弟乎地

をぢ 祖父の兄弟 従祖父 父の弟之同弟乎地 おぢぢぢ 父の弟之同弟乎地 阿叔 父の弟之同弟乎地

れぢぢぢ 男子の後生子 弟 男子の後生子 ねほよ先 長子の妻 姪 長子の妻

婦 おぢぢぢ 次子の妻 娣婦 次子の妻 およづけ 兼附之妻 ね 兼附之妻

水がひ 字於刀加 領 比同 おもかげ 可宜 面影 可宜 ねもむく 顔面

赴 假字疑 ねむか 面高 おほやり 刀判 鶴 刀判 ねほかみ 獸 狼 獸

ねほぢか 似鹿而大者也 麋 似鹿而大者也 おほづえ 似鹿而大者也 螯 似鹿而大者也 おぢぢ

志 字於米 伊 虫 廣 虫 おほだら 木 食菜菓 木 ねほ名み 草

保思美 保思美 黄精 保思美 ねほばこ 草 車前 草 おほびる 草

保刀知 保刀知 茶 保刀知 おくき 草 玄参 草 ねほびる 草

大蒜 保美良 ねほみら 保美良 薤 保美良 おもだか 水草 澤 水草

瀉 草 おほせり 草 大芥 草 おごのり 海草 於期 海草

菜 和 ねほがね 和 洪鐘 和 ねくつき 和 墓 和 おほ 和

ね 和 櫛 和 ねばりま 和 檻 和 ねほつぼ 和

ね 和 虎子 和 おもづら 和 鞆頭 和 おほゆみ 和

曾浦古言辨標注 曾浦古言辨標注

古本惟馬樂哥 於 止年須也

續記於七夫氣

おびりり

銀具和於此刀利

鞆

おびかけ

帶和於比加波

おびもの

おびもの
紀於和於此刀利
布和於無毛乃

佩

おりもの

於利毛能又加無
波太註似鏡而薄也

綺

おほく

び
衣の前の襟
和於保久比

袷

おほかけ

和冠乃乎又保介
須介又於以加計

綾又老景

おほふ

和於保途倍
和へのは手

苞苴

おほみき

吉意富美
岐紀同

大御酒

おほく

各
紀於保
和比

おほかい
紀於保
和比

喧響

おほかい

和於保太加
同北太ヤ同

行
純紀於
豆礼万同

おほづれ
純紀於
豆礼万同

妖言

おたやか
和於保太加
同北太ヤ同

おほふ

穩
和於保太加
同北太ヤ同

おほほ
和於保太加
同北太ヤ同

所思

おほよか
和於保太加
同北太ヤ同

おほふ

輝媛
行庵
らん

おほたり
行庵
らん

おほろく
和於保太加
同北太ヤ同

驚

おほふ

字於比
止頃
憎又懈

おほの
乃判

賒

おほそか
字於比
曾加

疎

おほろふ
和於保太加
同北太ヤ同

衰

おほはる
和於保太加
同北太ヤ同

魘

おほぬ

字於已
奴不
補

おほかに
和於保太加
同北太ヤ同

面皮
面肝鬚者
謂面皮也

おほてる
和於保太加
同北太ヤ同

冠辞
志且流紀
万同

おほぬみ
大和郡紀
於尸農

忍海

おほらさ
和於保太加
同北太ヤ同

おほたみ
出羽郡紀
於伊太

置賜

おほいた
若狹郡紀
於保伊太

おほい

豊後郡紀
於保伊太

おほさか
伊勢又遠江
和於保太加
同北太ヤ同

刑部

おほい

和同訓
加倍有ハ誤

おほさい
土佐郡紀
於保左比

大忍

おほい

五言
和於保太加
又比刀久依

おほきうみ
和於保太加
又比刀久依

溟渤

おほだから
和於保太加
又比刀久依

曾補古言第票生

於身加計 今集解

民

ねほおやち

字於保於保地同 曾祖

おほかふち

氏之凡河内大

凡大通

おのづから

也 自

ねびまげり

和於比之波利 賺

ねほおるび

大指之 拇

おす免

和於頻 護田鳥

鷓鴣

ねほおるび

和於保 蝗

ねそき

和於曾 駑馬

おにぢらひ

鬼ハニ言ふやらひ 追儼

おほはれる

万萬美介延 於保登礼流

屎葛

ねきおぐさ

草之 白頭翁

ねほとそみ

草之

おろのねひ

自生指之 糴

おほらばら

草之

ねこごえ

和於古之古米 糶

おほら

およのそし
二言ふ春

占語拾遺 門那於西

まづき

和於之 凡

ねもしる

和於母之 面白

おま

よわ

面柔 豚

おまほてる

配念然 喟然

ねふ

しほま

丹後柳 凡海

おほやまの

國之 大和

お保

ほく

和於保 鬱悒

ねのがま

和於各寺師 志部

六言 ねのころも

和於能基 礮馭廬島

おきあのがは

息長河

おほしかふち

氏之凡河内大

凡河内

おまけくそ

面黒子 和於

おほぢらふがり

蝗螂の子 蝶蛸

ねむらづ

曾甫古言第票主

下乙

坤補三言抄

ら 草因於無 奈加豆良 芎藭 草因於余乃也加 良因同ノ波美 續斷 官名因於 おほ

みるぐさ 草因於保 美流久佐 草蓆子 草因於保 東無 おむものいる 因於無毛 乃以流 馳射

おぼつらさき 因於保 東無 鬱悒

七言 至十 四言 七言 國於保登 能保加比 大殿祭 おぼた原

ちむぢ 曾祖父之兄弟ニ因 於保於保知平知 族父 おもれびれまうちぎみ 官名因於 毛比刀

侍従 おほみこりもちのつらさ 同因於保美古 刀米宇知岐美 侍従局 おほき

おほみこりもちのつらさ 同因於保岐 無本知乃司 正親司 おほるのつらさ

むだちのつらさ 同因於保岐 無本知乃司 正親司 おほるのつらさ

大炊寮 同因於保鳥 乃豆加佐 おほれむのつらさ 同因於保刀侍 利乃豆加佐 大舎

人寮 おほら一はものつらさ 同因於保加之 波天乃豆加佐 大膳職 おほいまつりご

おほら一はものつらさ 同因於保久 良乃都加佐 大蔵省 おほいまつりご

おほいまつりご 同因於保伊方 豆利古刀乃詔 大政官 おほいまつりご

おほいまつりご 同因於保伊方 豆利古刀乃詔 大政官 おほいまつりご

おほいまつりご 同因於保伊方 豆利古刀乃詔 大政官 おほいまつりご

おほいまつりご 同因於保伊方 豆利古刀乃詔 大政官 おほいまつりご

おほいまつりご 同因於保伊方 豆利古刀乃詔 大政官 おほいまつりご

會首 一 一 第 票 主

七

増補古言標註

かへる

越前地名
可敬流

のづぬ

山城地名
加豆怒同

かじひ

加賀比
加賀布

嬬

歌

かぶつ

固詞那傳でハ
ブ活用す

霹靂

かぢり

如加地
刀判

四言

かみおつ

雷の落し
加美
於豆又加美刀介

霹靂

かぢり

如加地
刀判

かゝる

育の下
加伊加祢

脚

かはむ

虫判加
液無之

鳥毛虫

師

はぼり

虫類
細加波保利

蝙蝠

まづら

小魚
加末豆加

鮫

かざろい

如加

肥後
又火影
又朝夕

かざろい

取かけろ
小舟も万
晴晴蛙を
片の字も信

あはたけ

骨皮五竹
細加波多計

筭

かはほ

水草
細加波保利

骨蓬

かひる

如加比路
又註
脈不

母也
舩

かうふり

冠

かはらけ

瓦
上

里

かすのひ

門戸具
之字録と加須加
比
細磁と阿合賀須加比

かせづゑ

杖
細加勢都患

鹿杖

又杖
首杖

あら

さを

打穀
具
細加良佐乎

連枷

かぐはし

香濃
細加愚破志
同常云かすはし

馨

かくさ

ふ

可苦佐布
佐布の約須乎
かす

隠

かたらひ

可
良比

相語

あたは

ら

細脇助
と加太波良保徐
訓

傍

のびなく

倍
細同

考

かならび

假令

必

あふん
ハ不在

かな

悲

かよふ

又
蚊蟻欲布

あは

炫

かへらひ

可選
比
奴
礼
奉

還

あは

あは

川副

かた

のほり

可保
等判

容鳥

又
貌鳥

かはぞひ

川副

かた

ハ

人名
又
紀
柯
陀之波

堅石

かたもひ

細
陀
梳
と
訓
片
境

あたづく

可
頭
伎

片着

曾補古言第票生

七

かづのみ

木一五可

楮

穀木

かづの

下総郡

葛飾

かづ

らき

大和郡

葛城

かいのや

上野郡

桂萱

かたどり

かたどり

讃岐

茶居

かよハク

波久

通

桂萱

かたどり

かたどり

五言

かはのみ

河伯

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

又

うたつぶり

かいらふぢ

かいらふぢ

かいらふぢ

かいらふぢ

かいらふぢ

かいらふぢ

かいらふぢ

かいらふぢ

かいらふぢ

かいらふぢ

久奈

蛾

かいらふぢ

かいらふぢ

かいらふぢ

かいらふぢ

かいらふぢ

かいらふぢ

かいらふぢ

かいらふぢ

かいらふぢ

水場

のハたぐさ

なつち

なつち

なつち

なつち

なつち

なつち

なつち

なつち

なつち

浪

かなつち

かなつち

かなつち

かなつち

かなつち

かなつち

かなつち

かなつち

かなつち

かなつち

不隠

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

不隠

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

不隠

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

不隠

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

不隠

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

不隠

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

不隠

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

不隠

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

不隠

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

不隠

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

不隠

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

かひらこ

春と知字正澄然
...
この假字はいくつ
考定す

曾浦古言標注

地部 一三言 木部 一三言

のみ 未加波 吳茶黄 莫加美於古 からにあふき 莫加良 射干 須安布支 かみ

おこいな 莫加美於古 苦笑 莫加美於古 かいたれんき 加波多礼等根 お

たかひのは 越中川名 かはくまつら 木加波久末豆 衛

矛 多加比我波 かたのきのみ 加太加之支乃 饗饋 以比注半熟飯也

幾部

一言 幾支 伎岐 記 紀 枳 企 奇 寄 綺 騎 既 棄 巾 鬼 祈 祇

機 基 忌 替 嶠 吉 清 藝 疑 擬 宜 義 儀 蟻 濁音 木 樹 寸 城 來

春云支ハ 支官命ヲ 伎の音ハ 葉字聲并 古語ハ 支官命ヲ 伎の音ハ 葉字聲并 古語ハ

小伎の音あつてくち あつて

衣服 著 杵 酒 訓

二言 ぎ 鳥とと收支擬之 雉 匣支七塊又支之 ぎ 匣義 疵 又 瑕 受 きこえ 匣後延竟寄哥

閉由久收をい來 經行と消あつて 消 加美岐波 際 匣波匣髮際 際

三言 きはご 木之匣支 黄蘗 波太同 きづか 匣兩訓在鷹何之 寧 乎在犬岐豆余 練 練 き

たひ 軒内と匣 惜 匣支太比 きたひ 鉄と 針 匣支太不 きはひ 匣支 保比

競 匣支太比 きはみ 匣支 極 波美 究 匣支 きこえ 古岐許延 所聞 匣支

十幹の一 甲 匣支 きらひ 匣支 嫌 又棄 き 乃數 昨 乃數 日 乃數 き 乃數 きのえ 乃數 杵 築

曾甫右言 弟 標 生 き 七五

不七 服 曾 比 競

四言 **ききむバ** 支惠無波注 蜻蛉小而黃也 **胡黎** **きりくひ** 代抗之匣 支利久比 **杠** **き**

ぬいた 常云きぬと 和伎奴以本 砧

五言 **きよまはり** 淨しまはりハ 碎麻波 **きそひかま** 比擬 藥攪

きのうつほのみづ 木の穴の水と和木乃宇 豆保乃美豆又竹籬頭水 **半天河**

〇久部

一言 **く久** 玖 九 鳩 句 約 君 苦 空 官 矩 俱 區 衢 孔 丘 群 音清

具 愚 寓 隅 遇 求 郡 虞 供 娛 音濁 來 口 國 訓

後撰 屑小音とか

二言 **くは** 不し 紀俱 破五同 **桑** **くハ** 養眞固久 波記同 **鋏** **くす** 養仰 紀矩 儒五同 **葛** **くづ**

くは 和金屬と和加抄乃 須利久都也訓 **屑** **くひ** 固久比 和同 芳十六 音小いひかま **杙** 又杙 **くひふ** 固俱比 和同 **咋**

くい 紀俱伊同 又久由 舌本催馬樂同 **悔** **くえ** 石崩と伊波久叙 紀以播區 如輪ハ岩くゆと延るるも **崩**

三言 **くも** 固久七章 和雲屑 **雲** **くがひ** 鳥之至 和久々比 舌本催馬樂同 **嶋** **くひな**

くも 鳥之 和比 比那和同 **水雞** **くど** 鹿類之和久之加 空同又於保自加 **鹿茸** **くぢら** 大魚之 古久 治及紀和同

くま 水草之和 久和為 **烏芋** 慈 姑 **くひせ** 空久比 是和同 **拙** 字書末頭和株之 訓字書木根ハ土

くつ 馬具 和久豆和 節良又久都和 **轡** **くろ** 和致之利注 解結者紀手 扶と多衛 鉚 離 字 訓

くら 和久 良為 **位** **くる** くるふ くるる 比和同 **狂** **くま**

自利 鯨 鯨 又鯨 日根土 上白 殊又短柱 惠音 鯨

長古事 大の字と 記 尚一 三連きん 夕毛并々千 夕毛并々千 夕毛并々千

肥田 古由

こふ物と求し
こふ 説乞比 乞

こゑ 固許惠 固同

こゑ 鷹 木居

こゑ 固古度 固同 又古由

越 固古度 固同 又古由

こゑ 固古度 固同 又古由

こゑ 固古度 固同 又古由

肥 固許 七而固許自

こド

こゑ

こゑ

こゑ

越

こゑ

こゑ

三言 大牛 固事負 乃牛 固古度比

こやひ

特牛

こぞゑ

こぞゑ

捕

こほ弦

こほ弦

菜類 固 占保称

温菘

こほり

氷

こほり

郡

郡

今

夜 固許 美

こづみ

木屑

ころみ

ころみ

噴

こら

こら

夜 固許 美

こづみ

木屑

ころみ

ころみ

噴

こら

こら

越道 固地

四言 固凡公 又叔 又古之字 刀 又 女公 又 妹 又 古之字 刀 米

こまうぢ

こまうぢ

こまうぢ

こまうぢ

こまうぢ

高麗人 固宇

こほるぎ

蜻蛉

こほのを

こほのを

こほのを

こほのを

こはいみ 固古八

強飯

こほり

こほり

こほり

こほり

こほり

ほひ 比 比ほひ

こいし

こいし

こいし

こいし

こいし

こいし

言語 固半 良胡 本斯 和半 固累

こほり

こほり

こほり

こほり

こほり

こほり

水 固許 又例を 又イロヒ 又

こいふ

こいふ

こいふ

こいふ

こいふ

こいふ

五言 固許 又例を 又イロヒ 又

こわづくり

こわづくり

こわづくり

こわづくり

こわづくり

こわづくり

筋 固許 又例を 又イロヒ 又

こわさへ

こわさへ

こわさへ

こわさへ

こわさへ

こわさへ

筋 固許 又例を 又イロヒ 又

こころだらひ

こころだらひ

こころだらひ

こころだらひ

こころだらひ

こころだらひ

曾甫古言梯標注

固許 又例を 又イロヒ 又

こころだらひ

こころだらひ

こころだらひ

こころだらひ

こころだらひ

春まコホ 固地 越道 固地

春まコホ 固地 越道 固地

兒手拍

こいまろひ

四言こいよ
すのまよ

展轉

又

○左部

一言

左、佐、差、璫、磋、沙、娑、砂、紗、散、射、作、社、者、草、舍、積、柴。

霜清音

謝、坐、座、藏、邪、裝、奘、奢濁音

狹制

二言

さば

同左

澤

さハ

同左波

多

さそ

舟具同佐

擋又辛

え寒所

互

さへ

実より弄るもや
のさくもく同左倍

副又並

さひ

同左

竒宛

窈窕

三言

さくえ

月同

栄螺子

さひぢ

魚同

劍

さすえ

溪左八

純紀八丁 螺江口
夜氣々

盃類同佐須衣註
器似斗屈木為之

捲

さうひ

展具同

權

さはり

同左

障又ハリ

假廢

さうえ

さうの

騷

さづげ

同左

榮

さうひ

假廢

さうひ

比取不

逆

さうひ

同左

誘

假廢

さうひ

さほぢ

天和子在

佐保道

さうひ

さ

假廢

さへた

佐波郡

雜太

さへら

筑前郡

早良

さ

假廢

相馬

さけひ

駿河郡

澤食

さひづる

さへづる

四言

さを志る

紀左鳴子

牡鹿

さひづる

さへづる

鳥の鳴く同左佐比豆
流同左及豆苗同

曾浦古言辨票注

轉

さハマケ

菜類之團
佐及夜介

黄菜

さかづき

酒器之團
佐加都支

盃

さ

いたて

函佐
多天

戲射

さいづち

正匠具
散伊都運

終揆

さひづる

鑄

さいなむ

團佐支奈年
支ヤ伊通例

侍

伺候

さ

幸

さくらひ

比詔候

侍

さ

呻吟

さすらひ

比詔候

侍

伶

征

騷

さく

物音之古

一

さる

さるく

物音之團
佐慮

さくまる

障切

遮

さむ

さひもち

神之古
佐比持

さいだま

武藏郡
佐伊太木

埒

玉

さいぐさ

氏之加賀飛騨
團佐以久佐

三枝

さびいへ

上野郷之和
佐之伊倍

雀

部

五言

さへののみ

道神團佐
倍乃加美

道祖

さばへさす

冠許之團
五月

如

五月蠅

さあづら

蔓類之古
佐那葛

五味

さる

さか

さ

みづき

高佐加美豆
佐可弥豆

酒宴

さぶづらふ

万秋丹類
相又左耳

良布之紅色
の匂と云

さ

さら

細萩

細萩

さいれい

和佐之
此以之

細石

さか

さ

六言七言

さやぶき

鳥之團
佐夜

觸膝

さば

曾浦古言

標注

此

惟支奈年とサハマケ
佐波比とサハマケ
とも音便也

不流離とサス
とよんぐ

羽日 さいふんハ平言

幸 又福

さくらひ

比詔候

侍

伺候

さ

物音之團
狭藍左詔

字佐和波志
万佐和之同

物音之古
佐比持

物音之古
佐比持

物音之古
佐比持

物音之古
佐比持

物音之古
佐比持

橋之團
佐

神之古
佐比持

神之古
佐比持

神之古
佐比持

神之古
佐比持

神之古
佐比持

神之古
佐比持

神之古
佐比持

鳥鷹志

神之古
佐比持

神之古
佐比持

神之古
佐比持

神之古
佐比持

神之古
佐比持

神之古
佐比持

神之古
佐比持

古本神樂哥小志波
漢と云々

志づ

志づ字志自

縮又幅

志づ古本備馬樂

志づ因之頭氣師國志

静都官志

志づ頭

滴頭

志づ之頭久

沈

志志るふ

所垂

志はす

志はつ人名又地名

十二月

志思慮也

志指摩都

志相志佐波

志有皮而無米也

志有皮而無米也

志思慮也

四言

志夫の母

姑之字乃米

志志波不

志支和同

志有皮而無米也

志思慮也

志潮佐

志潮佐

志志波不

志支和同

志有皮而無米也

志思慮也

志物子冠ら

志物子冠ら

志問列同

志白布

志白布

志思慮也

志敷抄

志敷抄

志問列同

志白布

志白布

志思慮也

志敷抄

志敷抄

志問列同

志白布

志白布

志思慮也

弊

志下

志下

志米

鎮

志思慮也

えぬ

志團之良延

志團念之

志團念之

志團念之

志思慮也

五言

志玉十

志團之

志團之

志團之

志思慮也

志團之

志團之

志團之

志團之

志團之

志思慮也

志團之

志團之

志團之

志團之

志團之

志思慮也

志團之

志團之

志團之

志團之

志團之

志思慮也

志團之

志團之

志團之

志團之

志團之

志思慮也

須部

一言

須春周主取素數寸秀珠殊輪酒葛州洲

音

曾甫一...

世三

古語拾遺新利久
送經

竟寧哥斯朗陀幣

儒孺聚受授濁音

栖巢簣簾渚為酢訓

二言 びち

室詞 須知

筋

固須受 同

鈴又鐸

びん

固須 不

吸

三言 びち

固須 同

末

和須 假

假髮

びん

上總郡 和幸

周准

居

信濃郡 同須波

諏方

三言 びん

小鳥古須 受米 同

雀

びん

固須 久不

巢

びん

魚固須受岐 出雲風土訓同

鱸

和須 末比

相撲

びん

詔須末比 同

住

びん

比足石哥須之 比三代安録同

源

室須 奈保

質直儉素

びん

固須受 之室同

涼

びん

固須 伊ハ発語そら同

不覺入坐 蘭

救

字須 頻久比力流

漉

びん

固須 伊ハ発語そら同

不覺

びん

入坐 蘭

ひは

國 須波

周防

びん

河内郡 和須加不

菅生

四言 びん

神号 固須比智 途神廻須昆尼

陶

びん

神号 固須佐 之男紀書美鳴

次みかハ

びん

工匠具 須美奈波

繩墨

の

尾器 和須惠宇都波毛乃又 須惠毛乃字黨と須惠加万

陶

びん

工匠具 須美奈波

繩墨

びん

工匠具 須美奈波

繩墨

え

津國 在 吉の古訓

住吉

五言 びん

蔓草 和須比豆良 和須比可豆良

忍冬

びん

蔓草 和須比豆良 和須比可豆良

忍冬

びん

蔓草 和須比豆良 和須比可豆良

忍冬

ぐさ

草 字須 比久佐

旋復花

びん

和須 都比尔

末遂

びん

和須 都比尔

末遂

ものまろ

職名 和須奈 伊毛乃万宇之

少納言

春六徳日本紀十六
三縣大養宿称
須奈保と云人の
質直の意一や
後子住居と
七八誤

○世部

一言 **世** 世勢、齊劑、制西、栖細清音
是筮、噬濁音
瀨湍、兄

弟迫背訓
石花二字

三言 **せう**
古兄と世のい又衣也
云せうのハ兄人の
兄

○曾部

一言 **曾** 曾層、僧贈、蘇所、泝祚、且祖、則宗、諸簿、素清音
叙

增憎俗、賊茹、序存、鋤濁音
其背衣、十麻訓
追馬二字

犬馬鏡 百一十四丁

二言 **そば** 側訓
岨
そひ 蘇比同
添又傍
そほ 赤と配訓

そね 大隅郡
そね 大和地名
そほ 大和地名

三言 **そほき** 和牛馬體、曾保
歷草
そのふ 曾能不和同、曾乃
園圃

そがひ 我比
そこひ 古比
そびえ 古比

そがひ 古比
そこひ 古比
そびえ 古比

そほぢ 所治紀
曾夜遅
そかは 讚岐郡
曾加波
蘇甲

そこなひ 字傷残
曾己奈波苗
弊

そへぐるま 和後藥、曾開、久流
副車
そふののみ 蘇乃

万十廿丁十名相
春三そはらふとぬ
そはらふとぬ
そはらふとぬ
六帖そはらふとぬ
とはらふとぬ
そはらふとぬ
そはらふとぬ

曾部 貞生 九五

たちひ

河内郡民田多治比續紀和同

丹比

多げふ たうふ

武藏郡田多介布但馬郡田多加布

高生

多きん

信濃郡田太伎倍佐渡郷田多介倍又多加倍

高家

たいま

大和郡田當

當麻

たげを

家子 壮士

四言 多をやえ

手弱女田太子夜果

婦人

多づらひ

田陀巨

田令

た

ましひ

魂

たか寸糸

手末田多那須備田同

手端手子

多のど

ひ

手拭田木乃古比

手巾

多ふさき

田禮と太不佐支田禮而無踏謂之禪須方

手端手子

多のど

犢鼻禪

たづのき

木田木豆乃木

女貞

あららららら

田太加無

篋

多まづ

草田玉豆志

薏苡

たいまつ

雄松も同

松明

多がへり

耕

たかへり

田多加閉之註

相扱

たのひ

田多々加

多ふり

田多布斗

たふよ

ひ

田多陀

たまづさ

文田玉田多麻

たぐし

田禮と太

偉

たゆらひ

田絶多日

猶豫不定

多くはひ

田禮と太

貯

多ハぶれ

田太波夫流

戲

たはき

田太波

作劇

たげこり

田多婆許

龍言

多づらひ

田多豆

推乃

多けあは

たけハ高ハ辞

關又耐

たぐずむ

住田

イ

多まき

玉紀皿

万五世了多和也女
河内郡民田多治比續紀和同
信濃郡田太伎倍佐渡郷田多介倍又多加倍
武藏郡田多介布但馬郡田多加布
大和郡田當
手弱女田太子夜果
手末田多那須備田同
田禮と太不佐支田禮而無踏謂之禪須方
雄松も同

たいまつもたきわの音便あり
与夫大師遺書と貴物多布度毛能
文禮紀傳
虎宮寺毛津田
戻信多毛能
五七五 絶塔波

五言

まげののハ

竹皮和竹乃加波

篋

たまきけゆる

冠辞和多麻、岐波流和同

た

まぢけふ

靈治波布

靈幸

ままのねや

河内郷和多未乃於也

玉祖

ま

つたづ

たづ和多豆多頭思

たぢまもり

人名和多運麻七理

た

六言九言

あちもやほる

たもやほる

徘徊

た

かむたのうはのハ

華の皮和華乃宇波加波

籜

た

○知部

一言

ち

知智池遲馳陳稚致耻扱答

清音

治地尼旒泥

塗貳臑

濁音

乳血千訓

道路徑

同濁

三言

ちねも

和知於も

乳母

ちハヤ

衣服和知波夜

禪

ちのひ

ちのひちがへる

四言

ちりひぢ

和知利比治

塵土

ちいさ

吉本催馬米哥知比佐古カ称利和郡郷又物名ふり

小

少同

ちかづく

和知可豆

近

五言

七言

ちいぢふる

冠辞和固知波夜共流和同

ちいさきもの

和知比佐岐毛乃注

禪

ちぎりかふぶ

和知岐利加宇不利鞋婦人喪冠也

幘

万十五十一丁知里比治

増補古言抄撰言

◎

七

〇都部

一言 つ 都通追免菟聞屠清音
豆返途圖徒清湯二音
頭濁音

津川訓

二言 つは 田雲風土記 都波草
石路 つは 國与太利又 豆液志留
唾 つゑ 五豆惠 國同
杖

又丈

三言 つはり 國爭始兆也 豆波利乃 登支担擇食豆波利
膝 つらひ 國都加比 國同
使 つらへ 水ノ字製ノ豆 自和羊躑躅

つふ 紀都柯陪 國同
仕 つむト 和牛馬體 都無之
廻毛 旋毛
つみ 樂器 國都 豆美 國同
鼓

と以波 豆々之 躑躅 つくゑ 和都 久惠 机 案
つらふ 國都 固都度 同
集 つひふ 國都 毗 途 同
遂

るぶ 國都 流夫 婚 つやび 國都 固都度 同
集 つひふ 國都 毗 途 同
遂

つゞき 都豆良紀 菟頭 野素豆々企 續 つゞる 國都 固都度 同
集 つひふ 國都 毗 途 同
遂

つひゆ 國都 固都度 同
集 つひふ 國都 毗 途 同
遂

ついで 國都 固都度 同
集 つひふ 國都 毗 途 同
遂

筑城 山城郡 和豆 綴喜 國都 固都度 同
集 つひふ 國都 毗 途 同
遂

四言 つはもの 和都波 兵 つまづく 國豆 豆方 燒 蹴然
つは 牛病 和

多む 和都波 惠牟 莞尔 国都 固都度 同
集 つひふ 國都 毗 途 同
遂

蹄躑 豆万 以利 国豆 伊加支乃 破處 又豆 以比知 築塙 月立

曾補古言撰撰

丹

丁ウ 喚鷄

此布は言も言

朝 つちのえ
土の 戊
つのはひ
都加播佐礼
遣

つくるひ
紀豆矩羅村細叔
繕
つ

つみたらひ
細豆支之良比
獸角觸物也
舐
つらをり
葛折
九折

つぬさばふ
冠紳之紀蒐怒
瑤破赴同
つむらひ
望豆本自
如是和同
嵐

つぐみのひ
草之和豆久美乃
伊比称又保曾之
白英
つはむり

つくり
和和久利加波
註軟皮去毛也
革
つくり
玉類之和豆
大乃比と刀
客作兒

つぐみのひ
官名之和都波也
乃と都加佐
兵部省

紀豆矩羅村細叔
波都久呂比
文據紀 緯世
ついでても昔使

○天部

一言 て 天、豆、低、底、庭、帝、諦、堤、提、弟
清音

殿、泥、塗、涅、耐
濁音
手而直
訓

二言 至五 てふ
古何とやふかま言とてふ也何とやふかま何とやふかま
何とやふかまと中世と轉じててふ何とやふかま

斬 てらふ
賣之細比登涅羅
賊国天良波須
術
つづく
和豆
大和
調布

てらぶき
鳥之望寺豆支
啄木鳥 又調木
方言けらき

和豆
ハてらふの
器

和豆
これり
と物めらる

曾補古言條標注 ㊶㊷

○登部

一言 **登** 刀、斗、等、苔、靛、鄧、騰、藤、得、德、渡、妬、屠、土

杜、圖、度、奴、弩、怒、特、迺、耐、儂、杼、戸、門、與、共、速、鋒

扉、跡、常、十、鳥、止、迹、音、砥、利、礪、外、訓

二言 **戸** 母、**戸** 母、**十**、**十**、**十**

三言 **宿** 直、**宿** 直、**宿** 直、**宿** 直

四言 **遠** 射、**遠** 射、**遠** 射、**遠** 射

五言 **捕**、**捕**、**捕**、**捕**

昔今本

与云吳異
記の家室
かハ古に
か死に
家室の
戸主は
もとの
もとの
もとの

等伎波の
俗
にハ
にハ

春云々のハ殿居の
意をのハ假字と
いハ
宜長ハ万葉王諸
みくりハ

十市と遠キハ
ハ
ハ
ハ

ハ
ハ
ハ

不 **不**、**不**、**不**、**不**

四言 **四** 言、**四** 言、**四** 言、**四** 言

五言 **五** 言、**五** 言、**五** 言、**五** 言

六言 **六** 言、**六** 言、**六** 言、**六** 言

七言 **七** 言、**七** 言、**七** 言、**七** 言

八言 **八** 言、**八** 言、**八** 言、**八** 言

九言 **九** 言、**九** 言、**九** 言、**九** 言

十言 **十** 言、**十** 言、**十** 言、**十** 言

十一言 **十一** 言、**十一** 言、**十一** 言、**十一** 言

十二言 **十二** 言、**十二** 言、**十二** 言、**十二** 言

十三言 **十三** 言、**十三** 言、**十三** 言、**十三** 言

十四言 **十四** 言、**十四** 言、**十四** 言、**十四** 言

燈火

典云ふくろむりし
いふこと古くは
いふこと古くは

神樂哥奈川左波留

え 車具和 泰加衣 轆 車許那那 豆年同 煩 重後郡和 泰保里 直入 泰

ふ 津國郷固那 小波固同 難波 難波 讃岐郷和 奈良比 成相 成相 泰波 苗代 虫 泰米 久地同 蚰蜒 泰倍 准 泰

四言 ふはせみ 田和奈波世美 雌蟬不能鳴者也 蚱蟬 泰波 之呂 苗代 泰

な 奈里波 註大魚名也 鮪魚 泰波 直會 直會 泰

り 奈里波 比和同 業 泰里須 直進直 等閑 泰

志部 在 怒 泰里須 良不 准 泰

あつじ 同 奈美能宇倍由奈豆佐 比伎介 厚踏と布弥奈豆佐布 泰 泰

名 綱 以部寸か 泰 泰

五言 かまえのき 泰 泰 泰

ないり 泰 泰

〇爾部

一言 小爾 徐途二 仁而耳珥貳尼柔人 音 菱荷似丹 泰

于於而負 訓 泰

二言 小ト 自和介之 虹 小保 水鳥固途本打理固同又固美 本打理固理倍迺利固介保 磯鷓 泰

鳥 庭場 小ハ 海上の静まると泰波 小ハ 泰 泰 泰

増補 弟 票 主

(12)

百一

増補古言抄抄言

典云不... 氏... 古... 今... 誤

苴

ふひ

新

ふふ

丹生

にふ

壬

生

にえ

煮

瘞

にのハ

膠

ふは

三言

おきみ

瘡類

瘞

にのハ

煎

ふは

そ

草

甘遂

ふハひ

燎

燎

ふほひ

四言

にほやう

二言

にハる

俄

にひた

ふひな

三言

おきみ

二言

にハる

俄

にひた

ふひな

二言

にほやう

二言

にハる

俄

にひた

ふひな

一

おきみ

二言

にハる

俄

にひた

ふひな

百八十五 奈比

奈比 奈比太

奈比

奈比

奈比

奈比

奈比

奈比

奈比

奈比

那閉 新嘗

おねもひ

飲物

漿

おきハひ

おきハひ

おきハひ

那閉 賑

にひばり

常陸郡

新治

おきハひ

おきハひ

おきハひ

那閉 新川

おどよぶ

おどよぶ

おどよぶ

おどよぶ

おどよぶ

おどよぶ

おどよぶ

おどよぶ

那閉 新桑

おぎとろ

おぎとろ

おぎとろ

おぎとろ

おぎとろ

おぎとろ

おぎとろ

おぎとろ

那閉 五言

おほつざり

おほつざり

おほつざり

おほつざり

おほつざり

おほつざり

おほつざり

おほつざり

那閉 茹

にハざくら

にハざくら

にハざくら

にハざくら

にハざくら

にハざくら

にハざくら

にハざくら

那閉 六言

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

那閉 療

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

那閉 六言

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

那閉 六言

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

那閉 六言

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

おハくもふり

増補古言抄抄言

〇

〇

み... 記... 竹...

増補古言抄抄言

〇

〇

○奴部

一言 ぬ

奴。怒。努。努。農。濃。

農濃二字京奴の假字と和名抄の頃より乃の假字を用ゐるハ誤

野。沼。寐。宿。訓

二言 ぬえ

鳥。固奴。延。固奴。要子鳥。固同。

鷓。又。鷓。

ぬひぬ

固奴。布。同。縫。

三言 四言 ぬあは

水草。固奴。那波。固同。

蓴。

ぬらづく

頭もて地と突。固。叩頭。虫と奴加。豆支無之。

額突 又 叩頭

ぬえくさ

固。怒。延。久佐。

偃草

ぬすまひ

固。竊。舞。又。將。竊。食。

ぬすむとくさ

ぬすむとくさ

○祢部

一言 祢

禰。年。尼。泥。涅。佞。涅音

根。嶺。峯。寐。寢。睡。宿。泣。哭。

喧。鳴。啼。訓

三言 祢寸み

小獸。固。祢。須。美。吉本。催。馬。鼻。哥。同。

鼠

祢らみ

祢らみ。候。候。同。祢。良。比。

祢ら

ひ

祢らみ。固。願。幣。流。祢。可。比。

願

祢ぶる

祢むる。不。也。同。

眠

五言 七言 祢ちげびぬ

祢。ち。げ。び。ぬ。小。加。礼。的。辞。

佞人

祢すみもちの

き 木。固。祢。須。美。毛。知。乃。支。棟

○乃部

増補古語抄撰註

②

四十五

典云。若。遺。物。各。小。麻。住。ふ。を。入。り。て。か。り。

濱。云。汗。び。り。と。ぬ。る。こ。し。り。必。ず。掃。ふ。る。固。祢。祢。夫。利。持。祢。夫。利。翻。言。敵。木。持。夫。里。乃。水。

春。云。加。礼。の。約。心。得。可。き。

一言の乃。迺能音

之野笑。篋訓

三言のつち毒虫。固 蝮

のらえ野菫。固 蕪

のとき固乃和支

八夜 暴風

のらひ野菫。固 蕪

のろひ固乃和支

呪咀

のらへ固告閉のまじ

のろひ固乃和支

四言のたまひ古給。固使下 宜

のい寸み椿類。固乃以須美

のろひ固乃和支

肉刺

のい寸み椿類。固乃以須美

のろひ固乃和支

五言のむぎふえ固乃無 吭

のい寸み椿類。固乃以須美

のろひ固乃和支

不手能其比

固咒乃不

古ハ言者ト
子ノリヤ

中書。靴。小相
指。而。所。生。也。

○波部

一言は波。破。敷。半。判。絆。伴。巴。播。幡。幡。薄。八。方。芳。泊。蕪。盤。

磐清音 伐。婆濁音。婆。と。和。の。如。く。唱。る。ハ。半。濁。又。麻。摩。寛。 著。羽。葉。齒。早。速訓

二言は固波ニ 母固同 は虫。和。五。月。蟬。と。左。寛。 燧固波問 は延。同。

鮪固波 はえ草木の生 生固波 はえ茅。始。生。 蕪固波 はひ固波 灰固波 は

ち豆。固波 耻固波 はひ伏。行。固。伊。波。比。 匍。匐伊。ハ。発。語。又。波。布。 はひ虫。行。固。波。賦。武。 志。祝。同。固。波。布。

岐行 はひ草木のはひ 延

三言はだ固波 膚固波 は固鴨の 羽。交羽。我。比。 はり魚。固。波。利。 針水。又。与。豆。

増補古言辨類

星。代。弘。賢。云。常。盤。と。常。盤。と。書。る。古。書。ハ。何。多。一。集。古。録。ハ。呼。疑。是。盤。字。簡。少。假。借。而。毛。卦。盤。振。擇。文。作。盤。振。と。ま。し。盤。盤。平。通。用。の。例。と。与。云。小。云。記。康。亦。大。嘗。會。記。等。亦。作。常。盤。

万五倍倍多倍朝寺
久云。延の義。

物の外の秋
ほやまハ
物

つぎ草
當に用
故の字

万十四波自久
良波 波液遍
原字 波をいひ
せるハ非ハハ
と活用もハハ
とハハハハハ
とハハハハハ
とハハハハハ

増補古言抄

魚 はつほ

新稻と神奈
朝庭お奉る

初穂

ハ袖ず

方波林受
く異昨

唐棣花

はるか

はこき 朱櫻

はこそ

ハこき

ハこ

鼠麴

伯耆

はふふ

埴生

はへぎ

萩

はら

はら

はら

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

はらひ

四言

はくくそ

黒子

はらわた

はらわた

はらわた

腸

はふわり

半月

はらわた

はらわた

はらわた

はらわた

ハまつら

牛麩

ハまつら

ハまつら

ハまつら

ハまつら

ハトのみ

薑

はまはひ

はまはひ

はまはひ

はまはひ

はまはひ

ハトのみ

薑

はまはひ

はまはひ

はまはひ

はまはひ

はまはひ

ハトのみ

はいすみ

はまはひ

はまはひ

はまはひ

はまはひ

はまはひ

ハトのみ

ハトのみ

ハトのみ

ハトのみ

ハトのみ

ハトのみ

ハトのみ

ハトのみ

ハトのみ

ハトのみ

ハトのみ

ハトのみ

ハトのみ

ハトのみ

ハトのみ

ハトのみ

曾補古言抄

四一七

波和 波良 慕原

五言 八くまきぼー

支保之 彗星

はたかりえ

虫之 網波 太於里末 促織

はへはらひ

僧房具之 網 波閉波良龍 白拂

はづくろひ

網波都久呂比 計鳥理毛也 収

ハひまゆみ

木也 網波 比未由吳 杜仲

はらのふえ

戦之具之 網 波良乃布延 大角

はせづらひ

豆加比 馳使

六言 一ちすのぱひ

網波知須乃波比 留侍乃白久支 密

ぱひもやほ

るふ

古波比用登高呂布 波比母登富理起具波 比茂等倍離因伊波けも等保理いハ発語 匍纏

ハのりの

たもー

乃於もと 權衡 ぱくうたのねほぢ

網波之加衣乃 於保地相同 外社

父 はくらのたのはひ

母方乃波ト 母方乃於波 外祖母 外母の大母の 略しより、於

の假字、父母の兄弟と平治平慶云ハ小父小母の義 故の字の假字ありまよふこと也、その身

〇比部

一言 比。妣。非。悲。斐。飛。必。秘。彼。被。肥。卑。婢。賓。嬪。辟。避。譬。

臂。費。 毗。 備。鼻。眉。媚。寐。弭。 日。火。氷。乾。檜。干。

二言 比知 臂。 比知 臂。 比知 臂。 比知 臂。

比豆知也。比豆也。比豆也。比豆也。 比豆知也。比豆也。比豆也。比豆也。 比豆知也。比豆也。比豆也。比豆也。 比豆知也。比豆也。比豆也。比豆也。 比豆知也。比豆也。比豆也。比豆也。 比豆知也。比豆也。比豆也。比豆也。

備補古言標註

四十八

字書草似
稲而實細
ひえ 山名
固日使 比叡 又日吉の吉訓延
後世よりやまハ候

三言 ひど
吾國天皇と日知也
ナハ竟實言比志理 聖
ひたみ 固比太比團積と比
太比乃加と保利 額 ひる

ひ 容飾具に固比太飛
井 蔽髮則爲飾也 蔽髮 ひくさ
もの子のひくやる青
もて名つくるまじり 雛 ひる

豆 之 羊 ひつち 固比豆知又於呂加
於此註自生稻也 櫓 ひいづ
徳出の轉に固秀と
保ののりより 秀

ひこえ 固比太比天字稱
と比支爲天由久 率 ひろひ
ひいづ 固比之保厚能
一重と單同固比刀閉岐奴
計衣無表日單 馬樂哥比呂波牟

ひたを 固比昆
比鳥 頃丘 ひやく
一重と單同固比刀閉岐奴
計衣無表日單

ひたを 固比昆
比鳥 頃丘 ひやく
一重と單同固比刀閉岐奴
計衣無表日單

ひたを 固比昆
比鳥 頃丘 ひやく
一重と單同固比刀閉岐奴
計衣無表日單

比字質ハ音便

丙 ひごゑ 固比
古惠 失聲 ひむの
固比紀碑武伽和比
字質あるハ平言 日向

四言 ひえぢり 常ホマヒヨル
和比衣土里 鴨 ひをむ
和比乎無之註
朝生暮死虫也 蛸

ひどきも 有勢物語哥引ま物不詞
あまより 和比須支毛 鹿尾菜 ひこむえ
室美比古波
由和比古波衣

註斬而
復生 藁 ひくらぎ 水之固比之羅木之八尋
和比比之良木固同 杜谷樹
又巴戟天固同訓和並
都ホも巴戟天カて夜求

比之良木中訓
又黄苔も同訓 ひきたび 和比岐於比
註小帶也 衿帯 ひぢりここひぢ
和比

古又古比治 註土和水也 泥 ひぢまきき 固比知万岐註在臂上者
のホハク一
少云 固久志呂 固備中郷劍代と久志呂 劍

へふ 一重 偏 ひやくは 固八塩折酒又八塩折之紐
固長鹽之八塩乃衣 此八塩折ハ
也志保伊利の伊と平小通して云今一入也
器ふこ

五言 至ハ 言 白鮮 ひやくたまひ
和比乃太
方比又曾

春去八塩折ハヤレト
リ此の語釈り
くたぐり

增補和語抄

増補古言抄指言

開久流
註後車

副車

ひやひやぐり

和比刀比
米久判

太白神

ひざのり

はら

和比佐乃加波
良註膝骨也

膝骨

ひるむやまひ

和比尚無夜末
比註不能行也

痿痺

ひ

いこい

小魚之國比古志古
和比師古以和之

鯉魚

ひらびら

祭具之和比加
介加都良

葦籬

ひきりひたひぐさ

草之和比支乃比太比
久佐又美良乃柳久佐

細辛

ひこ

つらひ

引と延たると固比古直
良比固引豆良比

不部

一言

不否布副扶負敷浮甫輔賦府俯符赴

清音 夫

父矛步霧鷲部

濁音 蜂音

二字一言 生歴經訓

ひんがし
ハ古事記
本記に藤
ととて十
餘とす
本記の玉
又山
名抄
比加少
古又佐
手加世
其の引
世地
其の引

二言 ぶぢ

西布連敷
和布治

ふト

駿河郡又山
名和浮志

富士

ふえ

和府
和同 笛

三言 ぶぢぢ

草之和
不知奈

蒲公草

ふくみ

紀府保語茂利
及布敷音流又

鳳至 ふたる

長門郷
和布多為

二處

ふけひ

瀆の名又
人名 吹飯

四言 ふくろふ

鳥之和
和字和
不久呂不

梟

ふづけ

捕魚物圍不志豆介
乃木和布之都介 糶

ふまのハ

鍛冶具之和布岐加
波常云ふいご

鞆

ふらばへ

和布良
葉問 觸

五言 ふちよそひ

和布奈与曾比和司
舟がらうゆえ是

舩

ふぢごろも

喪服之和不知
古路毛

綾 ふちばりのま

草之和布
知波加万

蘭

ふみふとる

和不知
余志留 踏

曾補古言釋標註

① ②

五十一

ふ

古事集小
ち表のい
るハ言と
よく云
古喪事
あはす
麻布之用

りつぐみ

和不利 都七美 鼓鼓 圓鈕と布 利豆七美

閉部

一言

へ 反。返。閉。敝。幣。蔽。弊。篇。遍。霸。陛。珮。背。沛。杯。聲。鞞。平。

邊

便。辨。別。倍。陪。濁音のえの如く 唱ふハ半濁シ 經。歷。重。隔。方。旣。戸訓

三言

四言 へつひ 吉本催馬殿 刀与反部比 電 へつらひ 室友豆良不 註不實言也

諧

又訣 譏

保部

一言

保。褒。本。寶。朋。費。報。富。譜。裒。抱。方音 音 菩音 固音 凡。煩。

二言

穂。帆。百訓 和保々註而 保目下也 頰 ほう ほうえ 黙声の 嗥 又吼 吠

三言

ほづえ 吉本都延 紀方同 末枝 ほうひ 乾飯に 室加礼伊比 又 保志比 和保之伊比 猫 又 粮

四言

ほづき 草と和保 七豆岐 酸漿 ほうづら 蔓草と和 保土豆良 百部 穂北

ほと

乾肉と和 保之々 脯 ほうのち 火秀又火 の糖と 焰 ほういた 備中舞和 保伊多

い

乾魚と和 保之以乎 脯 ほういひ けいひの 條と在 ほうずけ 和冠乃乎又保 七須介又於以

厚 犬乃保由留 原本今改之

釋記引私記 保部收

增補世言抄標註

計加 綾又兼

五言

十一言

ほろがしは

木し和保室我之華字和同

厚朴

ほろひどり

和保加比

比刀又加多為

乞兒

ほろーまらびよのしん

官名し和保字之方良比刀乃豆加佐

玄蕃寮

○末部

一言

ま

末万萬同 滿馬麻麼摩磨磨魔莽音

真間目際

回廻訓

喚犬二字

大馬鏡 万土里

二言

まい

黒牛し和麻 烏牛

まい

古麻肥 幣

まい

古麻比和 舞

まへ古麻幣 前

まづ純紀先見先豆

まゆ

古本神樂哥 圓居

ま

三言

まよわ

貝し和 石炎螺

まゆ

古本神樂哥 圓居

ま

ある

よめく

古麻章又和紀同 参

まづ

まゆ

古本神樂哥 圓居

ま

万字 詰

ま

ま

ま

ま

ま

ま

万同又麻字勢或同

ま

ま

ま

ま

ま

ま

増欲 壊 紕

ま

ま

ま

ま

ま

ま

增補古言標註

五十二

万五麻豆 又九け

麻足石哥

新万 交信 原本ニヤルへるもハ 但言し今改之

波茶和 利麻我比 新万同

増欲 壊 紕

五十二

ひ まじら 直麻刀比 純純麻度比 和 まじらる 失意と古に踏方土比 惑 まづ 古記食釣と麻治如 ひ 収じ治ハ豆志の約 貪

四言 ま ますらを 可 麻周羅達和 和 足石哥同 丈夫 ま まくけり 和 緒父と 万 知た 繼母

佛 足石哥 麻良比止 ま まらら 稀 人の和古蕃寮と保字 客 客 ま まふこめ 眼 気と和眼皮と万奈古 為 山あふハたより

春 五ノナコ半 麻居の ま まふ 和 万奈志利 同 註眼尾 眦 ま まどろく 厚 万志日久又目太 太 大註目數動良 眩 ま まふいた 視 物物の意 上 のまじら

和 万由須美 ま まみ 註 画眉墨也 焦 ま まわた 和 未和多之注 壁 中横帯也 壁帯 ま まふひ 視 麻物の意 上 のまじら

和 万加奈不 擬 又脯 ま まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

和 万加奈不 擬 又脯 ま まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

和 万加奈不 擬 又脯 ま まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

和 万加奈不 擬 又脯 ま まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

和 万加奈不 擬 又脯 ま まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

和 万加奈不 擬 又脯 ま まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

和 万加奈不 擬 又脯 ま まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

和 万加奈不 擬 又脯 ま まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

和 万加奈不 擬 又脯 ま まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

和 万加奈不 擬 又脯 ま まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

和 万加奈不 擬 又脯 ま まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

和 万加奈不 擬 又脯 ま まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

和 万加奈不 擬 又脯 ま まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

和 万加奈不 擬 又脯 ま まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

和 万加奈不 擬 又脯 ま まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

増補古言類聚 卷之三

一言 み 美、彌、瀾、未、味、尾、微、弭、寐、民、見、視、看、觀、監、相。

○美部

へのきぬ 衣 名和万都波 之 乃字倍乃波奴 縫掖

ますらたけ 和 未刀万字之註 殊 同射中賞之 勇士

まぶら 和 麻具 波 思 真細 和 未刀万字之註 殊 同射中賞之 司格

まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

まら 固 麻も良比和同 万 麻も 流 古本神樂哥万保里 守 又 護

神瑞とみ
ついでに

御箕。三身、水海訓

二言 みる
固美豆
同

みる
固
同

瑞みる
固

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固
水脈

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固
三輪

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固
三言

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固
蛟

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固
みつぎ

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固
鏡靴

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固

みる
固

堀河昔昔除夜の可
とらち松のたて
あつたてつたて
あつたてつたて

三十一
みるは
固和
美加波
参河

四言
みるら
固和
自
みのおと
蔵府類和
美乃和太

志ひ
固和
比同
みるく
鳥和都久
又美和都久

支註鳥雁足指間有
幕相連者皆也
みるく
和美都字
美和太池

銀
みるく
和美豆
加波
瑞籬
みるか
固美自
可伎

のえ
みるく
水の上

五言
みるく
草和
固水
不七支
みるく
水脈
固美自
水脈
固美自

みるく
字と用る
ハコヤミ
一直推
の意のみ

みるく
水脈
固美自

増補古本新録集注

二九四

三二

標 **みづばのり**

和美豆波加利
常云みづば 准繩

みづぶるひ

僧坊具
和美豆布流比

漉水囊

みづくし

推くすくふる
古美都美都斯紀同

みちのれく

ケチのく

國美知乃久
和美知乃久 陸奥

みやづのへ

万官都
加律

官仕

七言 **みだらをのうま**

和美良平乃字
音青白雜也馬也

駿馬

みやのまぐ

はひ

古美斗能
林具波比 邁合

○武部

一言 **む武年無**

名同 鷓務霧夢謀

六訓

牛鳴 二字
一言

二言 **三言 びべ**

瓜類
年附 郁子

びどふ

黙
字同 年志奈の推古紀傍訓小
字自奈より古字を云語後世武小

誤多し、
訓是

格

むらひ

年比年加布
年地華流同

向

むかへ

妙又人名又地名
武良自年良自 連

迎

むくい

年又仲の今むく
ひむくふををハ誤 報

むらど

妙又人名又地名
武良自年良自 連

四言 **五言 びらひ**

正妻
又モトツ 豆米

嫡

むらび

良年加
之比 喜

むぎれ寸き

麥壓木
年岐於須紀

杆麵杖

○兔部

一言 **免**

免、米賣、馬、每、梅、昧、迷、謎、面、咩、綿、璫

女、眼、目

源云郁子むらひ
といふこと本草中
名ふてある一さし
ハ軍といひらけりも
むらひといふは
春三字と云詞と年
とよてお多し通
音ふはハ誤と云もの
又ハあはハ誤仁紀
山賦名年ト那ト
あははや傍訓と
之是也といふこと

見妻。訓

海藻 二守

二言 欠ひ

兄弟の姉 知和米比

姪 又 甥

三言 欠しひ

字目志 比和同

盲 又 聾

四言 欠あハ寸

和米阿 波頃

妻

欠のね 欠の

和米乃於刀又米乃刀又知於毛

乳

母 欠ほトキ

草之米 波之支

荒蔚

欠づつら

木之和米 加豆良

桂 欠づ

希見

此世上の欠るや同感愛之和五希見やもるは其感愛より 轉りて見ゆるもといふ故に今てふ別ニ奉るは後ふるのみ

毛部

一言 毛 母、門、問、聞、悶、文、目、物、勿、茂、忘、蒙、謀、望、暮、墓、慕

摸、謨、木、恭、牟、儻 音

裳、藻、裙、方、面、喪 訓

牛鳴 二字一言

二言 毛寸

小鳥之和 毛受和同 鴉 鼠鴉

毛ひ

尾羅之紀地摩蘇 比和米里又毛比

毛血

毛ひ

古本催馬寮哥 美毛比和主水

司と毛比刀里乃豆加佐是も

もち

鐵之和 毛邊

鎌

もえ

草木芽生之統和 毛延和同又毛伊

萌

もえ 火氣之固毛由流 和燼と毛延久比

燃

三言 毛みぢ

和毛英 知和同

黄葉 又 赤葉

もづく

海菜之和 毛豆久

水雲 もち

餅 ひハ飯の略ハ 知比

もちろ ハ候字をもひ者ハ らく是ふる

もち

毛器之壺 和母太比 壺 籠

もちろ 本屆 基

もらひ

和潮寄食毛 良比波元 賸

手去毛年二字モトハニ
通用無亦同見下日
本化竟哀哥

みはひ又毛ハ
とり和義並毛
比と去さ毛い同

竟哀哥 毛由

竟哀哥 裳江

聲意式二
は毛都久
春云毛ら
ひハ後形
のホにホ
をもちひ
のチ子淺
と併し
ハハハ
子去ハク
意同

曾補古言標註

五十一

の依字しせんは
赤き
學社櫻須女長於保毛
止井

与云毛半乃不ハモ
山部公老年不祀手
新方
山部公老年不祀手
新方

地補在言揚機言

もえぎ
色こたえ
二言小出
萌黄
菘

四言 もゆい
毛刀由比註
以組束髪也

もほり
備前郷和
毛度保利
旋子

もよほす
春虫の漸もころひ
出るゆりふべ

物理
備前郷和
毛刀片鳥

五言 八言 ものぐるひ
病名也和毛乃久
流比又太布流

もくづふ
冠辭之固毛七
豆多布同

主水司
言名之和毛比
万里乃豆加佐

もえぐひ
毛延久比
註火餘木也
燼

もむのふ
古母登本斯國茂昔陪之
陸奥郡和
毛半乃不
桃生

もぬげがは
もひやりの

五十六

○也部

一言 や也。夜。耶。椰。娜。瑯。揚。野。朕。移。音
哉。室。屋。矢。八

二言 やへ
古夜弊
紀方同
八重
又弥重
の略

三言 やむを
無事之和
夜無乎
鰥夫

やいほ
焼又之幾を
以小通ハ寸
及

やらひ
やらふ
やらろ

弱
或小和字當ハ意ハ似テ假字達ヘリ
和ハ也波弱ハ与和ハ与乎ハ倭ハ通

やは
古夜
本
八百
又弥百
の略

やむえ
無夫之和
夜無米
寡婦

やハす
和夜渡須註
箭受強也
筈

やまひ
古神夜良比余夜良比賜紀逐之
訓夜羅賦 今本夜と波小誤
逐 又離

やまひ
草木弥
生の畧
三月

や
や

や

春云男女
を過して
をいめと
云つた
俗誤
ハ語の略
古今の俗のこし
ハ空穂物語
ハ君うらな
ハ君うらな
ハ君うらな

きふ 大和郡の和也支布 揚生

四言 やーはご 曾孫の子と和夜之波古 玄孫

まろみ 草ノ字惠弥又安方奈和於保惠美又夜惠美 黄精

やあぐひ 盛矣昂ノ字也奈之比同 箴 同

やーあひ 和押始儂破務字也志奈不 養

やうく 本耶と其耶と延て耶字也古本押樂也字也 山直

やのばえ 本ノ繁と云舌夜實波延記耶賊波曳

やいつこ 紀野伊徒姑 姑

やまろづ 古夜將多豆註是今造末者也和緒と多節岐註備及答也云

やいく 夷兵具ノ和夜以久之 弗練

やうらぐ 方夜波之祝同 和

やいばた 火田ノ和也以八太の今の字ハ八田

やあいつ 津國御和也奈以見 揚津

五言 やいらぐさ 草ノ和夜波良久佐 黄耆

やあいばこ 調度津國御揚津也奈以豆也云如く也奈岐の岐と以み通ハす 揚管

やまのうひ 山間ノ和山乃加比 峽

やまふくき 草ノ和也求不之支 欵冬

やうのひ 草ノ和也

やほふふ 草ノ和也

やまのうけち 和夜末乃加介知山路間道也 碓道

やのへのこけ 屋上昔ノ和夜乃倍乃青分 屋遊

やまひくらき 草ノ和也

やそ

やまきとやふいと云ハ音便し

又師のめ やせめ 子てつぎこふいど 小母にハ又あそひや もめの手り せいの 一々一々也

伊部 取出阿行伊部

曾甫古言第集生

○由部

一言 **ゆ** 由遊游史度愈喻踰瑜音

湯從自訓

二言 **ゆ** 由紀史 湯坐 **ゆ** 由吉由惠 故紀百回

ゆ 由吉本油 由不ゆふ八 野

ゆひ **ゆ** 由又由布 結又由布

ゆ 由暮 由布佐 夕礼準 由布

三言 **ゆ** 由又由布 夕布

ゆ 由後 夕後

ゆ 由結 城結

四言 **ゆ** 由又由布 夕布

ゆ 由後 夕後

ゆ 由結 城結

ゆげひ **ゆ** 由又由布 鞞負備前

ゆ 由後 夕後

ゆ 由結 城結

ゆづる **ゆ** 由又由布 鞞負備前

ゆ 由後 夕後

ゆ 由結 城結

四言 **ゆ** 由又由布 夕布 太白星長庚

ゆ 由後 夕後 交讓暮 由不佐利

木 **ゆ** 由又由布 夕布 硫黄

ゆ 由後 夕後 交讓暮 由不佐利

ゆみづる **ゆ** 由又由布 夕布 硫黄

ゆ 由後 夕後 交讓暮 由不佐利

ゆみづる **ゆ** 由又由布 夕布 硫黄

ゆ 由後 夕後 交讓暮 由不佐利

ゆまかひ **ゆ** 由又由布 夕布 硫黄

ゆ 由後 夕後 交讓暮 由不佐利

ゆふのほ **ゆ** 由又由布 夕布 硫黄

ゆ 由後 夕後 交讓暮 由不佐利

五言 **ゆ** 由又由布 夕布 硫黄

ゆ 由後 夕後 交讓暮 由不佐利

夜 **ゆ** 由又由布 夕布 硫黄

ゆ 由後 夕後 交讓暮 由不佐利

弓牧葉

弓五由又故 同十八

弓末 弓五由 受和由美波教

三言 **ゆ** 由又由布 夕布

夕布

ゆ 由後 夕後

ゆ 由後 夕後

ゆ 由結 城結

ゆげひ **ゆ** 由又由布 鞞負備前

鞞負備前

ゆ 由後 夕後

ゆ 由後 夕後

ゆ 由結 城結

ゆづる **ゆ** 由又由布 鞞負備前

鞞負備前

ゆ 由後 夕後

ゆ 由後 夕後

ゆ 由結 城結

四言 **ゆ** 由又由布 夕布

太白星長庚

ゆ 由後 夕後

ゆ 由後 夕後

ゆ 由結 城結

木 **ゆ** 由又由布 夕布

硫黄

ゆ 由後 夕後

ゆ 由後 夕後

ゆ 由結 城結

ゆみづる **ゆ** 由又由布 夕布

硫黄

ゆ 由後 夕後

ゆ 由後 夕後

ゆ 由結 城結

ゆみづる **ゆ** 由又由布 夕布

硫黄

ゆ 由後 夕後

ゆ 由後 夕後

ゆ 由結 城結

ゆまかひ **ゆ** 由又由布 夕布

硫黄

ゆ 由後 夕後

ゆ 由後 夕後

ゆ 由結 城結

ゆふのほ **ゆ** 由又由布 夕布

硫黄

ゆ 由後 夕後

ゆ 由後 夕後

ゆ 由結 城結

五言 **ゆ** 由又由布 夕布

硫黄

ゆ 由後 夕後

ゆ 由後 夕後

ゆ 由結 城結

夜 **ゆ** 由又由布 夕布

硫黄

ゆ 由後 夕後

ゆ 由後 夕後

ゆ 由結 城結

○延部 既出于何行延部

○與部

一言 與与同 豫預同 餘余同 用 容 欲 譽 庸 遙

夜宵 世代

好吉 萬 四訓

二言 よひ 初夜すての夜とよひや云

よひ 夜夜多し波ハ未ふ過朝間昼夕同の事と夜半や去ハ借字のみ 夜

よち接引 攀按與治等理

一言 よはひ 齡

よはひ 結婚固用

よほろ 道江郷丁

丁 よろふ

よろひ 鏡甲

よろ

万九十一取而引与治
更仇備与波不
譽五知本抄小欄和名
与保日由典中地
この丁とよはひと
よちとよはひと
ありまハ丁はま
脚とつよはひの

づ 紀豫呂豆方 万萬同

よそひ 儀古与曾比

よそり 節新達部在

折 事ハ式社次 才寺ハ出

よあし 弱柔

よそぢ

條小 四十

よそへ 此と彼小此と

四言 よそほひ 儀辨同

よるぼひ

古本催馬牙哥 与目保比 遠途

よこほり

五言 よばひほし 流星

よろひぐさ

白芷 よちをざし 鮫

よみぢへる

蘇 よちをざし 吉咲八師の志やハ助辞のみ

自前五言集票生

㊦ ㊧ ㊨

ハト

○良部

一言ら良、浪、羅、囉、邏、擇、樂、寺

○利部

一言り利、唎、黎、璽、里、理、裡、離、隣

○留部

一言る留、流、琉、瑠、類、累、盧、蘆、屢、樓

○礼部

一言れ礼禮同、例、戾、黎、連、聯、憐、列、烈

○呂部

一言る呂、侶、路、露、稜、魯、廬、盧、樓、漏

○和部

增補古言抄

一言 **わ和。倭。王。澁。丸。音**

輪。回。廻。轉。吾。已。訓

三言 **あらけ** 字和良波和同 **童**

きぎへ 固和岐弊起同 **吾家**

わらひ

笑 良不 **笑** 咲

四言 **あたづみ** 海神と後と海の意名や也。起和多都美和同

こらはべ 和良波倍註童男也

仮子

あらふた 和良布太註草梅也 **圓座**

わづらひ 和豆良比 **煩**

仮子

あざは 字和奈々又又手乃々也 **惜**

あざは 倍不通辨 **あざは**

ひ 三代安録 **禍**

あざは

あざは をまハ字可笑を阿奈乎加之やいひ起俳優とをまきや訓古本神樂哥加良乎支やあると合せて假字常ハ世渡やまてても良比の約利 **活** 紀

わたらひ

あまらひ

あまらひ 伊勢郡

ワラヒといふのは假字の傍にハありぬど款の傍にハありぬれきぬ俗にハありぬと云ふはハありぬ

度會

わくらハ

邂逅

わづらのやま 地名和豆香山

五言 **わらハやみ**

瘡

〇為部

一言 **為。委。萎。位。威。章。偉。渭。謂。** 音

井。居。座。坐。處。猪。彘。

豕。亥。蘭。率。訓

編。蝮 二字一言和為註其類似蝮而大者也

二言 **ゐる** 和為流註般著波不行也 **般**

ゐい 遠江郡和為以 **渭伊**

三言 **ゐのこ** 能古 **豕**

ゐもり 字為毛利註蝦也并中出 **蛸**

ゐぬる ゐぬ

字鏡原本も井中出とありぬもハ出の字と誤りぬ字寮小蛸蝦井中出也とあり

留。有。井。中。出。蛸。蝦。井。中。出。也。と。あり

あ

六十二

漢云古事記傳七
伊佐苗の飯字と
せり考合へり

本居氏と田居中の
畧語ハハ云々
大正と古本今昔
物語ハ田居中の
詞ハ此ハこの約語
あんといすむも
ことわりあり

漢云和名抄ふり
て載りしとハ誤
し尋承和名抄ハ伊

諸ハ猪の
誤

率宿固章泥
斯紀方同

居去
るざり

居去
膝行

居去
おろ

居去
田舎

居去
お

居去
お

せき
あせ

支註以土過水也

堰埭

おぐみ

堰埭

お

お

さり
農具和
為佐利

耒底

おまべ

負辨

おのへ

井

井

於
又讚岐郡
和同上

井上

井門

おやび

おのへ

禮

禮

四言
おさらひ

和為佐良比
社坐處也

醫

おのあ

織復

織復

織復

おてゆく

率住みのハ比
岐為の畧

牛膝

おちごま

おのくつ

刊字豆

草之厚為
の大豆和

五言
おのやくき

和為乃大豆和
和知字相似たり
つぎとるん字
又為乃伊比

猪魁

おのくつ

刊字豆

刊字豆

草之厚為
の大豆和

宇部
既出于阿行宇部

惠部

一言
お恵衛回隈穢會繪

笑餌

笑餌

笑餌

笑餌

笑餌

笑餌

二言
おぬ

犬

おぬ

おぬ

おぬ

おぬ

おぬ

黄精
おみ

笑

笑

笑

笑

笑

笑

三言
おなり

彫

彫

彫

彫

彫

彫

多のこ

大の子

多のこ

多のこ

多のこ

多のこ

多のこ

多のこ

多のこ

多のこ

多のこ

多のこ

多のこ

多のこ

漢云和名抄ふり
て載りしとハ誤
し尋承和名抄ハ伊

知古万米よむはし
とす一覆盆子に
似るる名つけし
るをのこ名つけし
即本和名抄ハ誤
多のこ名つけし
さて此語ハ
削り以部ハ
こもらとす

漢云和名抄ふり
て載りしとハ誤
し尋承和名抄ハ伊

漢云和名抄ふり
て載りしとハ誤
し尋承和名抄ハ伊

漢云和名抄ふり
て載りしとハ誤
し尋承和名抄ハ伊

漢云和名抄ふり
て載りしとハ誤
し尋承和名抄ハ伊

漢云和名抄ふり
て載りしとハ誤
し尋承和名抄ハ伊

漢云和名抄ふり
て載りしとハ誤
し尋承和名抄ハ伊

春五内裡式新嘗祭の
宣命小思依白多御酒
赤丹乃徳水食膳を
此におい吹出の
あつたといふこと
なまひすくま
うとあまきとらへ
と貞観儀大徳大儀
小答敷聖

増補古言新原註

出息心呻
吟 惠奈久 唳

ゑぐり 味 困 醜

ゑらぎ 笑 困 惠 良 惠 良 笑 困 爲 樂 又 笑 樂

良伎 悦 嘘 者 大 笑 也

ゑにす 困 惠 須 槐

ゑくり 阿 波 郷 困 惠 大 利 殖 粟 子

まひ 二言のあ びふ同

四言 忍みぐさ 車 困 惠 美 久 佐 又 安 麻 奈

女 葳 蕤

ゑづらら 困 惠 都 長 可 介 嘲

ゑらく 三言のあら びふ同ト

六言 忍ぬのこぶさ 車 困 惠 琴 乃 古 久 佐

猶 尾 草

○袁部

袁部 漢 山 子 所 許 袁 部

一言 を 表 遠 乎 呼 弘 烏 鳴 鳩 怨 越 叫 惋 迴 惡 音

男 陽

夫 士 丁 雄 牡 尾 小 少 緒 絃 麻 苧 峯 岡 丘 侵 矣 訓

呼 吟 二 字 一 言 和 泉 郡 和 乎

二言 をち 父の兄弟 宇平地 和同

伯父 叔父 仲父 李父 同

をぢ 困 烏 賊 方 同

老翁

をば 父の 姉妹 古 乎 志 記

字 乎 導 伯母 叔母 和同

をひ 兄弟の子 宇平比

をい 鳥 困 志 同

鴛 鴦 偽 困 於 保 乎 曾 村 里 の 乎 曾 八 合 五 宇

同 愛 轉 惜 同 曾 之 惡 心 意 乎 之 誤 嘘

をい 困 殺 須 又 衰 勢 記 同

食 草 困 夜 宇 同

をそ 水 獸 困 衣 加 困 同

をそ 七 高 處 困 岡 又 丘

をの 備 困 於 保 乎 曾 村 里 の 乎 曾 八 合 五 宇

工 具 能 斧 曾 補 古 言 新 原 註

をげ 麻 首 困 遠 家

をけ 汲 水 困 計 桶

をさ 困 乎 長

をさ 機 具 困

春五内裡式新嘗祭の
宣命小思依白多御酒
赤丹乃徳水食膳を
此におい吹出の
あつたといふこと
なまひすくま
うとあまきとらへ
と貞観儀大徳大儀
小答敷聖

万 叶 半 曾 日 登 吾 乎

宜長云初うろこころ
を乎知と云群の
をちうくつと鳴とま
以類し
春乎乎字カコカ
を用へてコマウト
てラウトととも
類例多し乎
不刀ハいとめつ
首とオフトと云
すれあらんんさ
こハ用へるん
刀は乎能故

漢委犯ハたすの假
字と委ハ別考
春上情崎日記
ののちのちの
さうさうい
ののののの
をうを
わける
感する
れの假字
あるハ
云説ハ誤
假字拾要
漢五大人
猶季
八平
字
考
分
別
考
い
ハ

乎左
同 葎

をり
野菜
和乎知
草臺

居
百表理
同五平流

をり
利

折

をち
阿波郡
同

遠

を

ち

草臺

を
唯々

唯々

を
阿波郡
同

麻殖

を

を

こ

をへ
三言をハ
の処小云

夫又解

をり
利

脚

をち
同
同

男

三言

をふ
字乎不刀
乎字刀有

夫又解

をり
利

脚

をち

男

を
具赤
童男

をみ

をみ

をさ
長女の意

女

をさ

女

を
男鳥
乎土里
雄

をり

少女又如女
處女

をさ
長女の意

專

をり

を

を
男鳥
乎土里
雄

をり

少女又如女
處女

をさ
長女の意

專

をり

を

踊
又

をり

蛇
又倍美
又知奈波

をさ
長女の意

鬼

を

を

を
魚
已自
同 鱧魚

をり

尾花
又

をり

をり

をり

をり

を
介良
同 杓

をり

尾花
又

をり

をり

をり

をり

を
介良
同 杓

をり

尾花
又

をり

をり

をり

をり

を
介良
同 杓

をり

尾花
又

をり

可咲

をり

をり

を
介良
同 杓

をり

尾花
又

をり

可咲

をり

をり

を
介良
同 杓

をり

尾花
又

をり

可咲

をり

他

田

をり

尾張

をり

可咲

をり

他

四言

をり

尾張

をり

可咲

をり

他

ぢまき

私足石哥
乎逢奈伎

懦弱

をぎむ

屈伸する虫に常六
尺取虫と云和乎伎無之

蜈蚣

をの

づら

水し和乎
加豆良

楓

をのハ

柔皮し和
乎之加波

草

をさく

長し方乎
佐乎左毛

専

をたげび

細馬多
鶏屋

雄詰

をのく

懼し字乎乃々
久又和奈と久

惜

をうつひ

和乎登
都日

前日

をの

前年

をりば

をぶすま

武蔵郡和
乎夫須万

男衾

をちこち

をちハ遠
二言ハ出

彼此

をつくは

和乎豆久波
チハ俗語

筑波

五言

をみま

草し和乎美奈殿
之言今物名和同

娘部志

をやくし

草し
和乎

刀乎
刀之

赤箭

をの

草し和乎
加土々岐

苜蓿

をの

木し和乎
加豆と之

又仁豆
々之

茵芋

をちがへ

鴨野公おののちがへ
云云二言のちがへ同意

六言

をやくばら

室橋梁之左右之
柱也乎刀古柱

幢柄

をのこやも

夜母女

鯨

をのこども

和雄自毛能
又男士物

七言

をさむるつらさ

官名し和乎佐
牟田都加佐

治部省

九言

をさむつくるつらさ

官名し和乎佐
豆久苗都加佐

修理職

又和字正温のあや
拾遺ふくろくま
考へ
寛政七年四月
平春海

大人の考のときれ
享和二年四月望
演臣

弘化三丙午春
山田常典

地和のばーえのやーれ八月ふあつえ終ぬ

下つ終のふたる楫取魚彦

子愛のき恒をくいのほり

きみわりのく

奇仁紀八十七年
春二月云大中姫
碎曰吾子弱文人
也何能登天神庫
命曰神庫雖高
我能為神庫造
故諱曰神之部庫
也
雄略紀十二年以命
水二開難御起
權關於足御田登
權疾走四方有者
行云
同三年曰小指古
部直振以石為實
揮斧到終日獨
之不誤傷及云
推古紀十四年夏四
月乙酉明三辰銅
鑄文六字
竟是日止大六
像坐於元興寺

Handwritten Japanese text in a cursive style (sōsho), likely a transcription of the text above or related commentary. The characters are dense and flow across the page.

留甫下三三原主

金堂時佛微高金
堂已以不得其堂其
是諸工人等議曰彼
堂戶而納之然輪作
鳥之旁以下據戶
得入堂云太子
傳華三亦載此事
雄善紀十三年秋
九月木工猪名部
真根王、爰有同
伴巧者數借真
根而作歌曰啊
拖羅斯松德離
健施陀俱坎柯
誠志須跡難暗

山田常助增補
世之書林英 文蔵祥

此種古書標榜言

金堂時佛微高金
堂已以不得其堂其
是諸工人等議曰彼
堂戶而納之然輪作
鳥之旁以下據戶
得入堂云太子
傳華三亦載此事
雄善紀十三年秋
九月木工猪名部
真根王、爰有同
伴巧者數借真
根而作歌曰啊
拖羅斯松德離
健施陀俱坎柯
誠志須跡難暗

江都書林

下谷御成道

青雲堂英文藏板

小學本註	二冊	增補文語碎金	二冊	八面鋒	四冊
扶桑蒙求	三冊	宋名家詩選	二冊	晚唐百家絕句	五冊
題画詩類鈔	二冊	香篋集	一冊	和歌題百絶	一冊
三大家絕句	一冊	蜀山先生詩集	一冊	東征稿 西上記	二冊
漫遊文章	五冊	昔々春秋	一冊	酒中趣	二冊
左傳凡例考	一冊	左傳比事	一冊	歲華一枝	一冊
歲華一枝拾遺	一冊	名乘字引	一冊	名乘字彙	一冊
略註五經字引	一冊	篆書字引	一冊	易學小筌	一冊
書家必用	一冊	書家錦囊	一冊	書家便覽	一冊

古韻通叶	一折	醫書之部	一冊
治痘論	一冊	治痘要論	一冊
治痘要方補遺	一冊	痘疹戒草	三冊
痘疹養生訣	一冊	痘疹科辨要	三冊
疔瘡食物考	一折	治痘要訣	一冊
種痘辨義	一冊	保嬰須知	二冊
方函	二冊	雜書之部	一冊
日養食鑑	一冊	翁問答	四冊
三省錄	五冊	世事百談	四冊
東江小倉百首	一冊	子昂真草千字文	二冊
隸書醉翁亭記	一冊	蘭竹画譜	二冊
光琳百圖	二冊	竹沙小品	一帖

光琳百圖	後編 二冊	画圖撰要	三冊	一蝶画譜	三冊
蕙齋略画	二冊	刀劔圖考	一冊	刀劔圖考	三篇 一冊
裝劔備考	一冊	鞍鐙圖式	一冊	甲冑着用辨	二冊
貞丈家訓	一冊	田畑調法記	二冊	百姓袋	一冊
校正孔方圖鑑	一冊	珍錢奇品圖錄	一冊	古錢鑑	一冊
佛鬼軍	一休 一冊	三畏一心記	一冊	日蓮御一代記	一冊
善惡種蒔和讚		八部秘講釋	一冊	曆日講釋	一冊
歌書之部					
貫之集類題	二冊	香川景樹集 桂の落葉	二冊	海野遊翁歌 柳園家集	二冊
千町拔穂	一冊	園圃拔菜	二冊	萬葉用字格	一冊

靈能一貫	二冊	源氏物語系圖	一折	<small>手柄岡持狂歌狂文</small>	二冊
蜀山百首	一冊	仮名類纂	一冊	<small>竹村茂枝集</small>	三冊
俳諧之部					
續故人五百題	二冊	掌中故人五百題	一冊	新五百題	二冊
新五百題	二冊	嘉永五百題	二冊	今人五百題	四冊
近世五百題	二冊	白雄坊五百題	二冊	<small>過日庵撰</small>	二冊
<small>過日庵撰</small>		名所千題集	三冊	題林發句集	四冊
<small>近世十家類題</small>	二冊	乙二發句集	二冊	曉臺七部集	二冊
十萬發句集	四冊	<small>過日庵輯</small>	二冊	今人發句集	二冊
發句古今撰	二冊	<small>蒼虬翁句集</small>	二冊	<small>過日庵撰</small>	四冊
俳諧寂琴	二冊	饒舌錄	二冊	名家類題	四冊

一葉集	<small>芭蕉翁一代集</small>	五冊	一葉集	<small>後篇翁之文消息</small>	四冊	俳諧集草	十六冊
俳諧四季草	四冊	安政五百題	二冊	<small>過日庵撰</small>	四冊	類題金玉集	四冊
風俗文選拾遺	二冊						
梅澤先生手本向		庭訓往來	一冊	風月往來	一冊		
千字文	一冊	消息詞	一冊	庭梅帖	一冊		
御成敗式目	一冊	女今川	一冊	女雅俗要文	一冊		
新三十六歌仙	一帖	雪後帖	<small>石搦</small>	一帖	新撰詩歌合	一冊	
續撰朗詠集	二冊	實語教童子教	一冊				
諸流手本向							
同真名序	一帖	尊朝瀟湘八景	一冊	大槁庭訓往來	一冊		

書屋

東京

日本橋南二丁目	須原屋茂兵衛
同 二丁目	山城屋佐兵衛
同 所	小林新兵衛
芝神明前	和泉屋吉兵衛
同 所	岡田屋嘉七
横山町三丁目	和泉屋金右衛門
浅草茅町二丁目	須原屋伊八
下谷御成道	英屋文藏
昌平橋外明神下	嶋屋平七
下谷稻荷町	福田屋勝藏

作...
 此...
 一...
 二...
 三...
 四...
 五...
 六...
 七...
 八...
 九...
 十...

東叡山

御書物所

江戸下谷御成道

青雲堂 英文藏製

圖書

東叡山
 御書物所
 青雲堂 英文藏製
 圖書
 須原屋茂兵衛
 山城屋佐兵衛
 小林新兵衛
 和泉屋吉兵衛
 岡田屋嘉七
 和泉屋金右衛門
 須原屋伊八
 英屋文藏
 嶋屋平七
 福田屋勝藏

終